

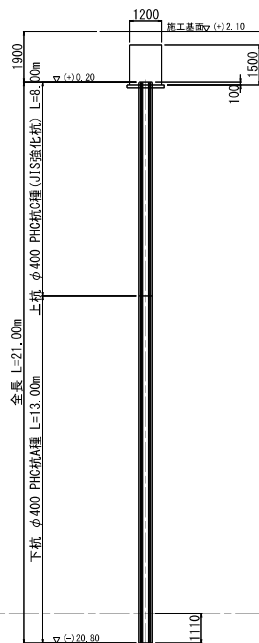
土質柱状図

3/NO. 0-95.53-Y1
GL=-1.54

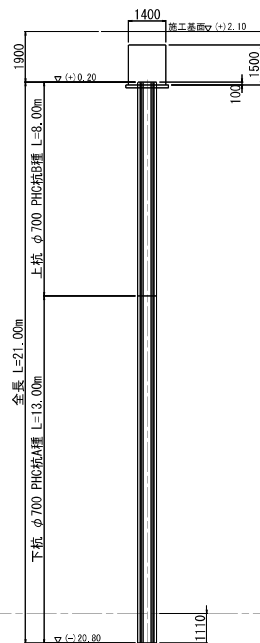
標高	層厚	深度	柱状図	土質名称	N値
-2.09	0.55	0.55	[Pattern]	砂混じりシルト	10
			[Pattern]	シルト混じり砂	9
			[Pattern]	シルト混じり砂	16
-6.44	4.35	4.90	[Pattern]	シルト質砂	8
			[Pattern]	砂質シルト	6
-8.64	2.20	7.10	[Pattern]	砂質シルト	4
-9.54	0.90	8.00	[Pattern]	砂質シルト	3
-10.54	1.00	9.00	[Pattern]	砂質シルト	2
-11.29	0.75	9.75	[Pattern]	火山灰質砂	1
			[Pattern]	砂混じりシルト	0
-14.54	3.25	13.00	[Pattern]	砂混じりシルト	1
			[Pattern]	砂混じりシルト	7
			[Pattern]	砂混じりシルト	7
			[Pattern]	砂混じりシルト	7
-19.24	4.70	17.70	[Pattern]	火山灰質シルト	6
-19.69	0.45	18.15	[Pattern]	火山灰質シルト	58
			[Pattern]	礫質土	88
			[Pattern]	礫質土	50
			[Pattern]	礫質土	65
-23.54	3.85	22.00	[Pattern]	礫質土	56

▽指定支持層標高 (-) 19.69

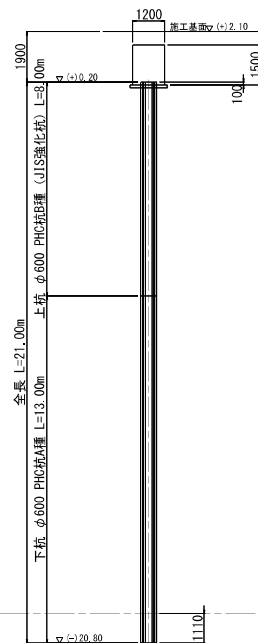
F1



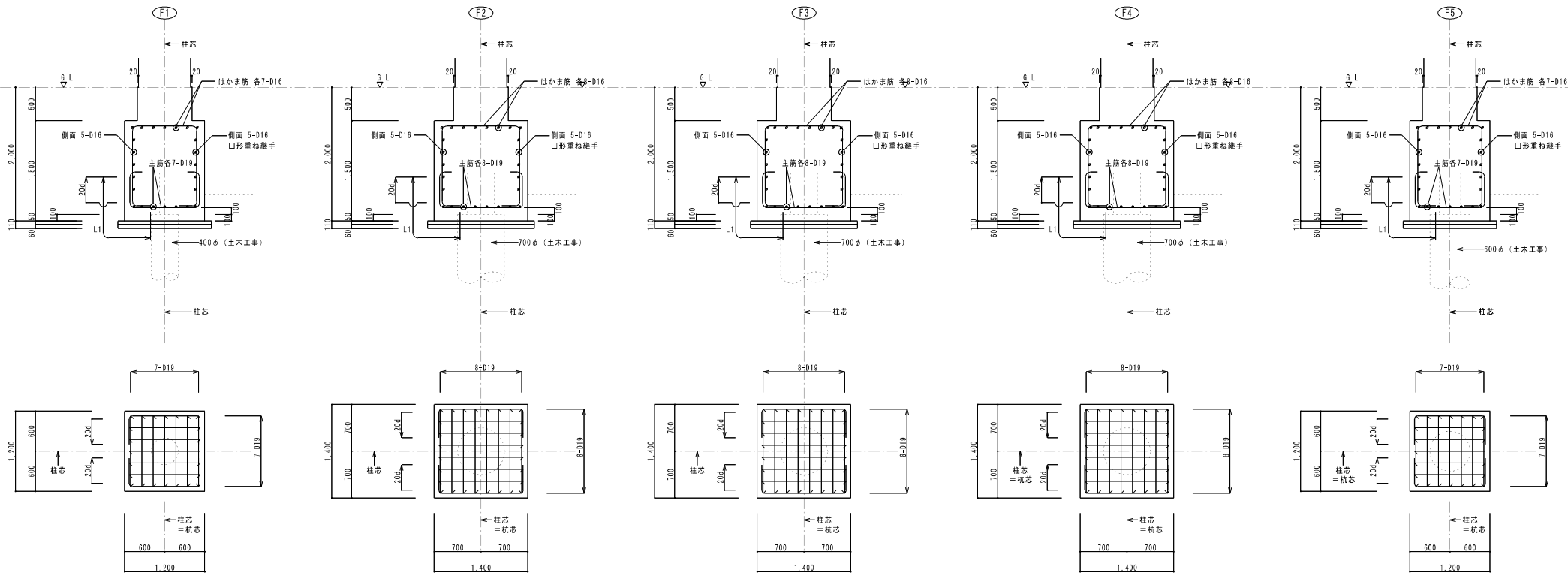
F2~F4



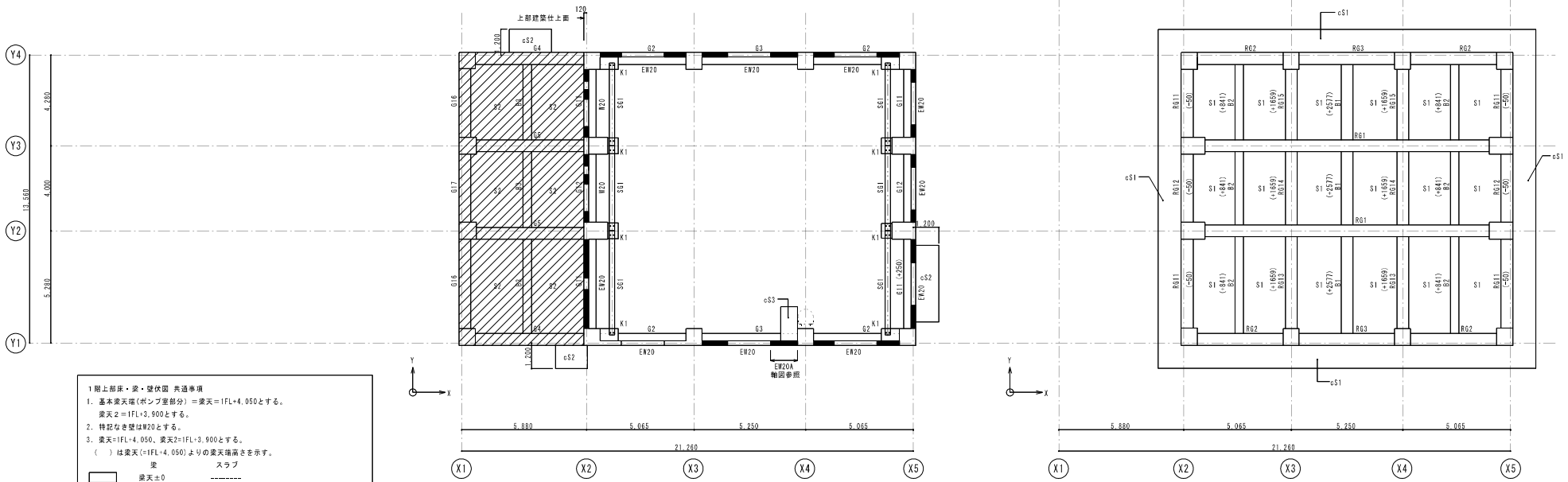
F5



工事名	令和7年度西国東海岸保全事業 2・3号排水機場上屋建築工事		
図面名	基礎伏図 (2/2)		
作成年月日	—		
縮尺	S=1:100	図面番号	55-2/2
会社名	—		
事務所名	九州建設局 西国東海岸保全事業所		



工事名	令和7年度西国東海岸保全事業 2・3号排水機場上屋建築工事		
図面名	基礎詳細図		
作成年月日	—		
縮尺	S=1:30	図面番号	56
会社名	—		
事務所名	九州建設院 西国東海岸保全事業所		



1階上部床・梁・壁伏図 共通事項

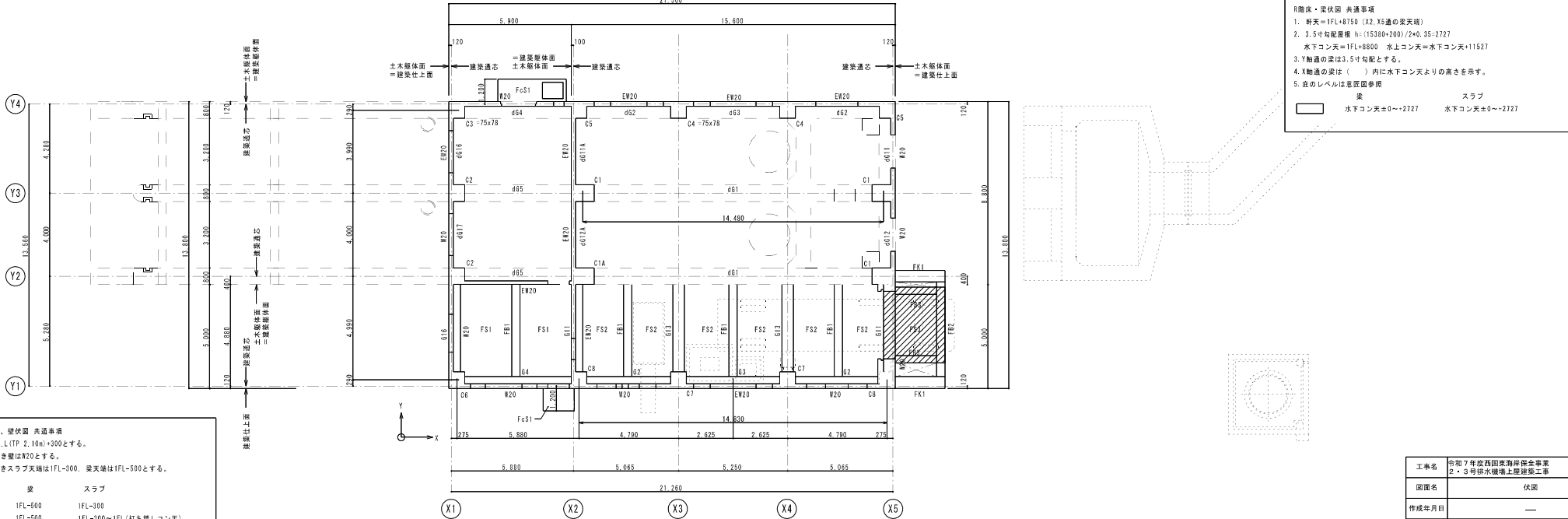
- 基本梁天端(ポンプ室部分) = 梁天 = 1FL+4.050とする。
梁天2 = 1FL+3.900とする。
- 特記なき壁はW20とする。
- 梁天=1FL+4.050、梁天2=1FL+3.900とする。
() は梁天(=1FL+4.050)よりの梁天増高を示す。

梁		スラブ	
	梁天±0		梁天±0
	梁天2±0		梁天2+50~110

- K1のレベルは軸組図及び壁(引-)詳細図を参照。
- 出入口のレベルは意匠図を参照。

1階上部床・梁・壁伏図

R階床・梁伏図



R階床・梁伏図 共通事項

- 軒天 = 1FL+4.750 (X2, X5迄の梁天域)
- 3.5寸勾配屋根 h = (15380+200)/2+0.35=2727
水下コン天 = 1FL+8800 水上コン天 = 水下コン天+11527
- Y軸通の梁は3.5寸勾配とする。
- X軸通の梁は()内に水下コン天よりの高さを示す。
- 底のレベルは意匠図参照

梁		スラブ	
	水下コン天±0~+2727		水下コン天±0~+2727

1階床・梁・壁・伏図

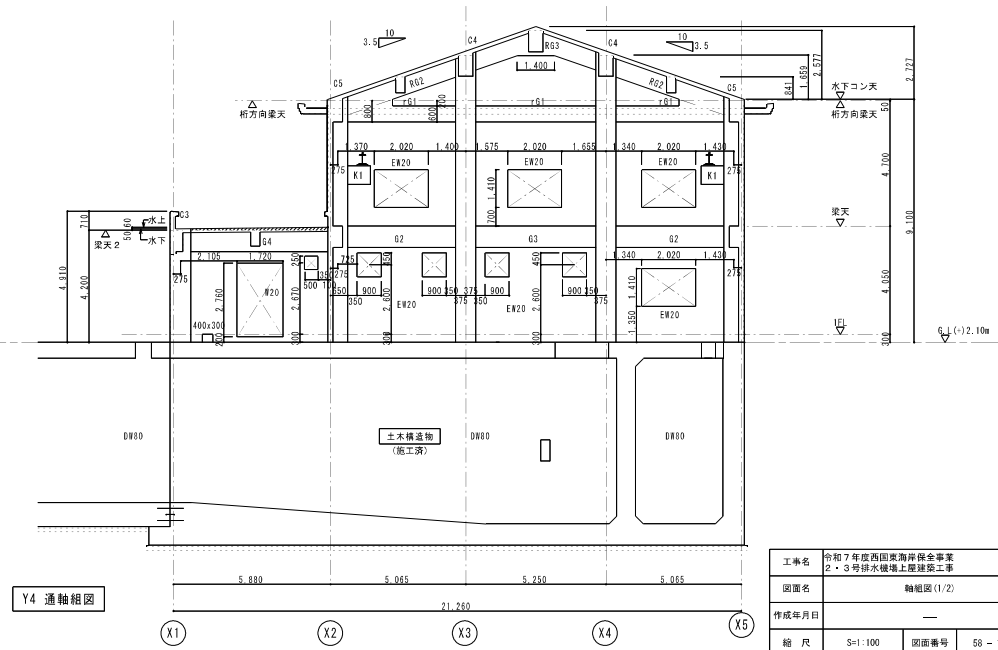
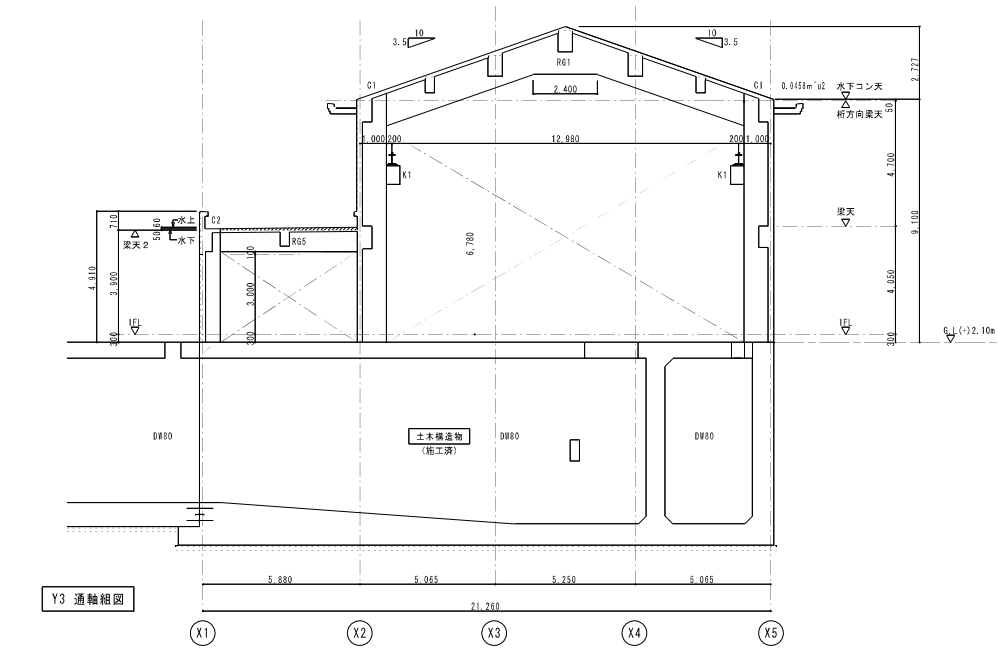
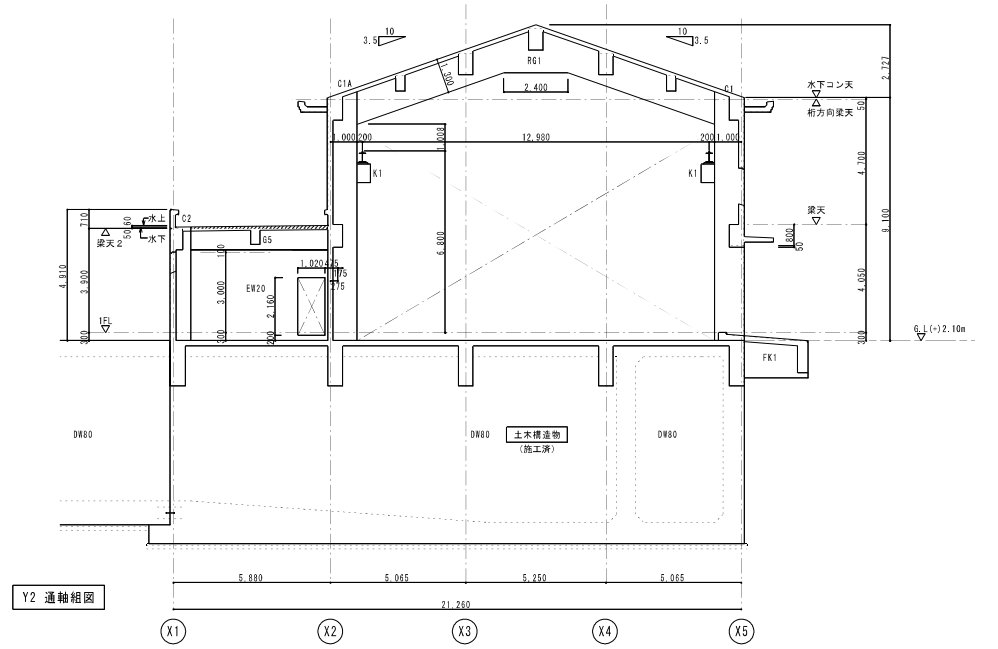
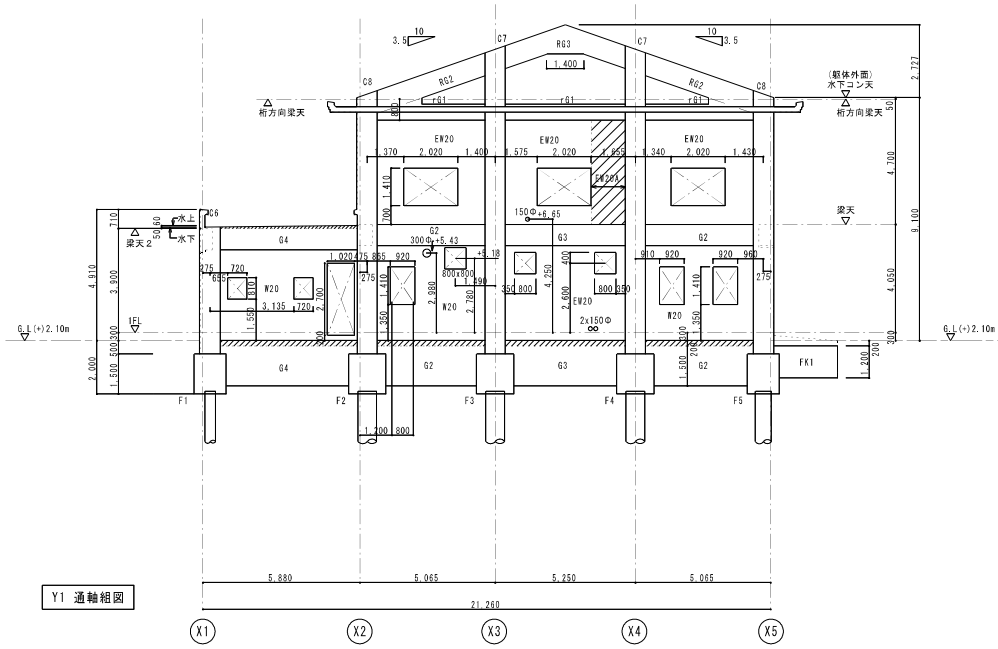
1階床・梁・壁伏図 共通事項

- 1FL=G.L.(TP 2.10m)+300とする。
- 特記なき壁はW20とする。
- 特記なきスラブ天端は1FL-300、梁天端は1FL-500とする。

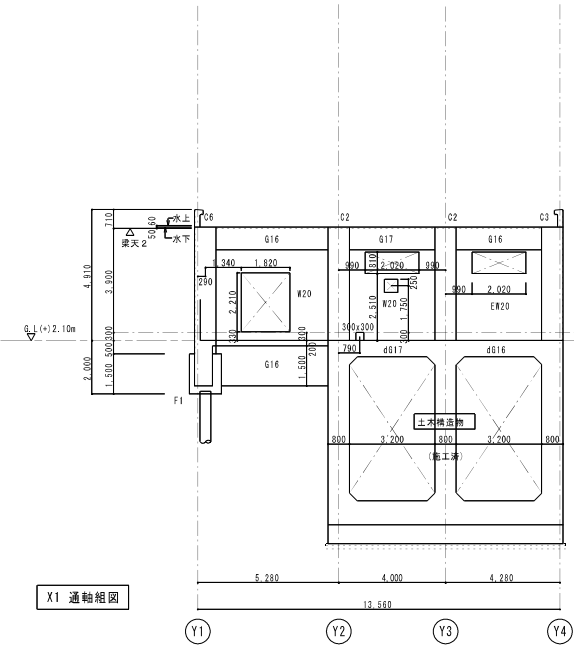
梁		スラブ	
	1FL-500		1FL-300
	1FL-500		1FL-300~1FL(打ち増しコン天)

- 出入口スラブの天端は詳細図を参照のこと。

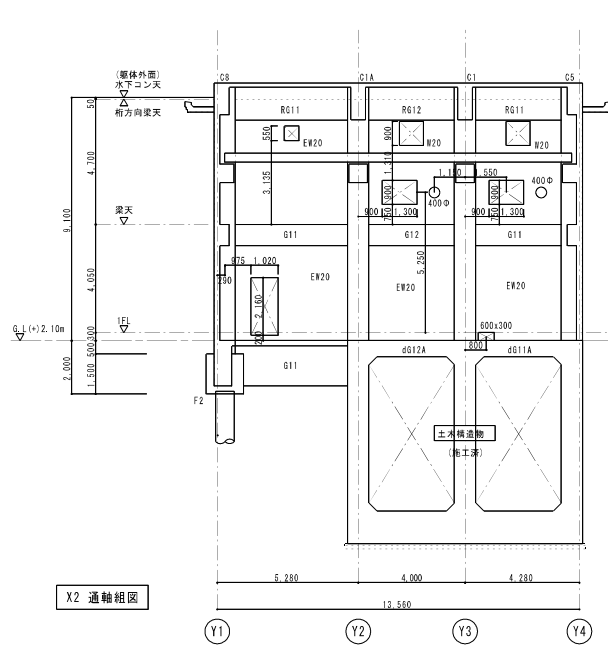
工事名	令和7年度西国東海岸防衛事業 2・3号排水機場上屋建築工事		
図面名	伏図		
作成年月日	—		
縮尺	S=1:100	図面番号	57
会社名	—		
事務所名	九州建設 西国東海岸防衛事業所		



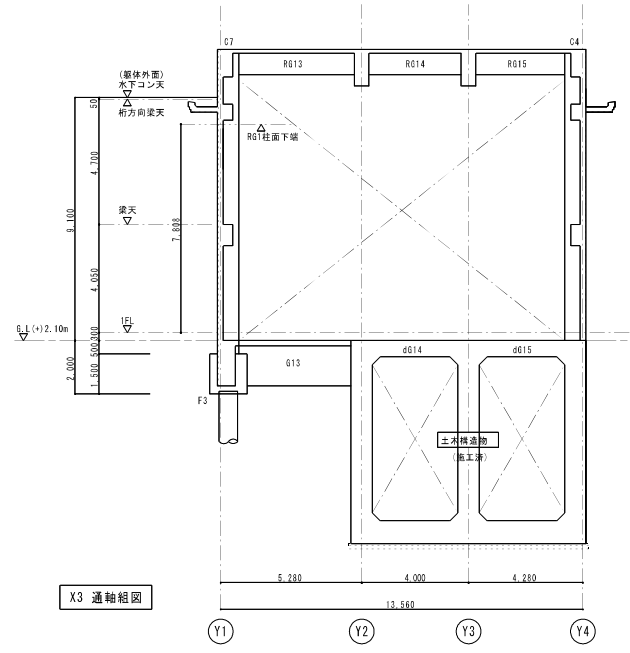
工事名	令和7年度西国東海岸防衛事業 2・3号排水機場上屋建築工事		
図面名	軸組図(1/2)		
作成年月日	—		
縮尺	S=1:100	図面番号	58-1/2
会社名	—		
事務所名	九州農政局 西国東海岸防衛事業所		



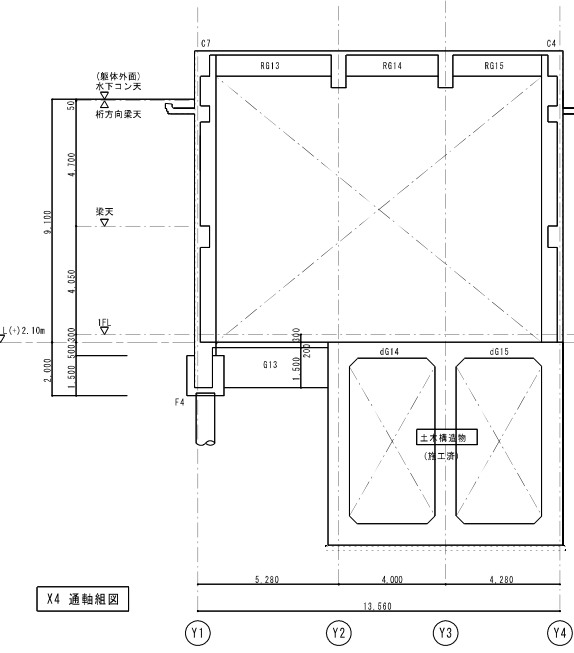
X1 通軸組図



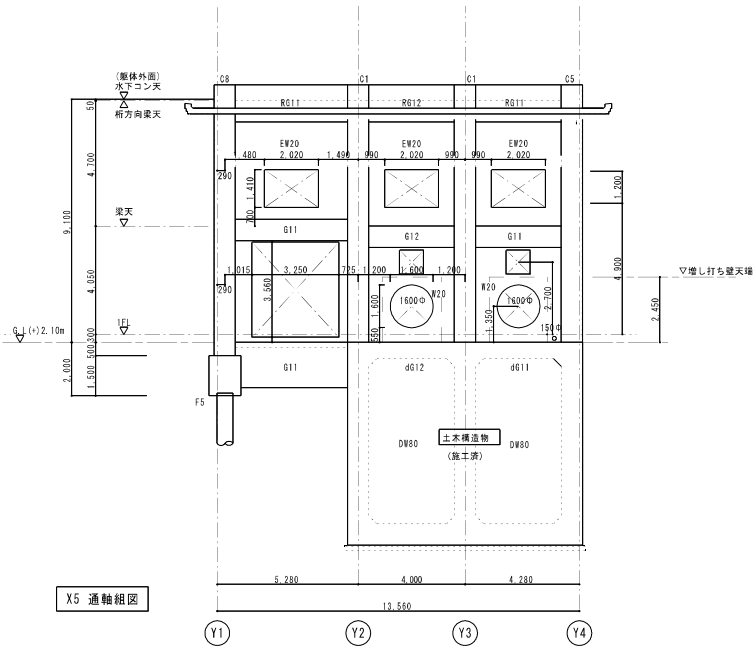
X2 通軸組図



X3 通軸組図

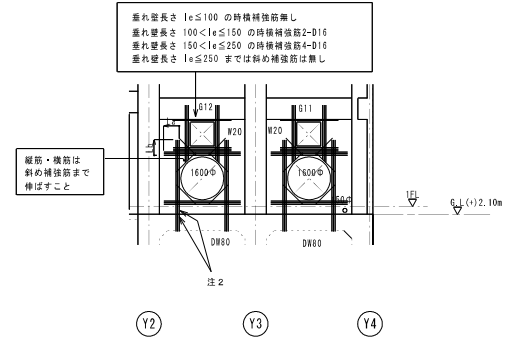


X4 通軸組図



X5 通軸組図

- 軸組図 共通事項-1
- 1 特記なき壁はR20とする。
 - 2 開口寸法は意匠図を優先する。ただし、構造図と異なる時は監修職員の承認を得て変更すること。
 - 3 は増打ちコンクリートを示す



X5 通壁開口補強筋配置要領図

- 注1 開口補強筋の配置はC-15 壁リスト参照
- 注2 定着及び重ね継手の要領はC-20土木接続図 (その1) を参照

工事名	令和7年度西国東海岸防衛事業		
図面名	軸組図(2/2)		
作成年月日	—		
縮尺	S=1:100	図面番号	58-2/2
会社名	—		
事務所名	九州建設 西国東海岸防衛事業所		

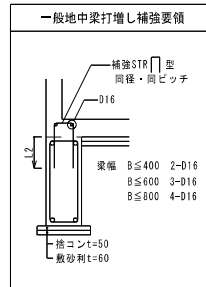
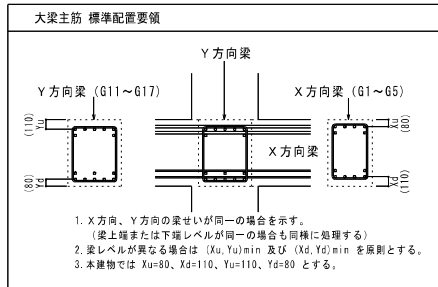
大梁リスト

※ D13以上の縦筋はL1重ね継手かつ柱にL2定着とする。

符号	G1	G2	G3	G4	G5		G11	G12	G13	G14	G15	G16	G17
位置	全断面		全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
R階	断面	1-1	2-2	3-3			4-4	4-5	5-6	5-7	5-8		
	B×D	550×1300	550×800	550×800			550×800	550×800	550×800	550×800	550×800		
	上端筋1	5-D25	4-D25	4-D25			4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	5-D25		
	2	4-D25	---	---			---	---	---	---	---		
	下端筋1	5-D25	4-D25	4-D25			4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	5-D25		
	2	4-D25	---	---			---	---	---	---	---		
あばら筋	□-D13φ150	□-D13φ200	□-D13φ200			□-D13φ200	□-D13φ200	□-D13φ200	□-D13φ200	□-D13φ200			
腹筋	10-D16	4-D10	4-D10			4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10			
2階	断面		7-10	7-11	6-12	6-13	9-14	9-15				8-16	8-17
	B×D		550×800	550×800	550×800	550×800	550×800	550×800				550×800	550×800
	上端筋1		4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25				4-D25	4-D25
	2		---	---	---	---	---	---				---	---
	下端筋1		4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25				4-D25	4-D25
	2		---	---	---	---	---	---				---	---
あばら筋		□-D13φ200	□-D13φ200	□-D13φ200	□-D13φ200	□-D13φ200	□-D13φ200				□-D13φ200	□-D13φ200	
腹筋		4-D16	4-D16	4-D10	4-D10	4-D16	4-D16				4-D10	4-D10	

地中梁リスト

符号	G1	G2	G3	G4	G5		G11	G12	G13	G14	G15	G16	G17
位置	全断面		全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
F階	断面		11-18	11-19	11-20		12-21		12-22			12-23	
	B×D		650×1500	650×1500	650×1500		650×1500		650×1500			650×1500	
	上端筋1		5-D25	5-D25	5-D25		5-D25		5-D25			5-D25	
	2		3-D25	3-D25	3-D25		3-D25		3-D25			3-D25	
	下端筋1		5-D25	5-D25	5-D25		5-D25		5-D25			5-D25	
	2		3-D25	3-D25	3-D25		3-D25		3-D25			3-D25	
あばら筋		□-D13φ150	□-D13φ150	□-D13φ150		□-D13φ150		□-D13φ150			□-D13φ150		
腹筋		8-D10	8-D10	8-D10		8-D10		8-D10			8-D10		

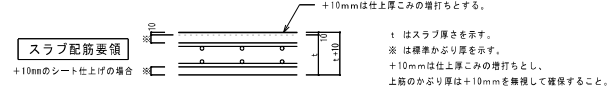


工事名	令和7年度西国東海岸防衛事業 2・3号排水機場上屋建築工事		
図面名	大梁リスト・地中梁リスト		
作成年月日	---		
縮尺	S=1:30	図面番号	60
会社名	---		
事務所名	九州建設 西国東海岸防衛事業所		

スラブリスト

符号	厚さ	位置	短辺方向配筋	長辺方向配筋	備考
S1	150	上端筋	D10・D13@200	D10・D13@200	ヤネ
		下端筋	D10@200	D10@200	
S2	150	上端筋	D10・D13@200	D10・D13@200	ヤネ(妻側)
		下端筋	D10@200	D10@200	
cS1	200	上端筋	D13@200	D10@150	ヤネ底の出隅部分の配筋要領は詳細図を参照。
		下端筋	D10@200	D10@150	
cS2	150~200	上端筋	D13@200	D10@150	出入口底 (Lo<1200)
		下端筋	D10@200	D10@150	
cS3	200	上端筋	D13@200	D13@200	点検床
		下端筋	D13@200	D13@200	
FS1	200	上端筋	D13@200	D13@200	居室
		下端筋	D13@200	D13@200	
FS2	200	上端筋	D13@150	D13@200	搬入室、発電機置き場など
		下端筋	D13@150	D13@200	
FS3	220(200+20)	上端筋	D13@200	D13@200	スロープ搬入床 +20mmは仕上げ込みの増し打ちコンクリートとする。
		下端筋	D13@200	D13@200	
FcS1	220(200+20)	上端筋	D13@200	D13@200	ポーチ床 L0<1200
		下端筋	D13@200	D13@200	

注) FS、DSスラブ下は、接着コンt=50、敷砂利t=60とする。



小梁リスト・片持ち梁リスト

※ D13以上の横筋はL1重ね継手かつ柱にL2定着とする。

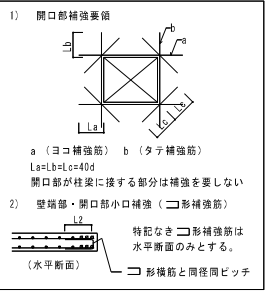
符号	B1	B2	B3	rG1	K1	
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	
R階 2階	断面					
	B×D	550×800	350×600	350×600	550×600	750×700
	上端筋	4-D25	3-D22	3-D22	3-D25	4-D25
	下端筋	4-D25	3-D22	3-D22	3-D25	4-D25
	あばら筋	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@150	□-D13@150
横筋	4-D10	2-D10	2-D10	4-D16	4-D10	

符号	FB1、FB2	FB3	FK1	
位置	全断面	全断面	全断面	
F階	断面			
	B×D	400×900	350×900	550×1200
	上端筋	4-D25	3-D25	4+2+6-D25
	下端筋	4-D25	3-D25	4+2+6-D25
	あばら筋	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200
横筋	4-D10	4-D10	6-D10	

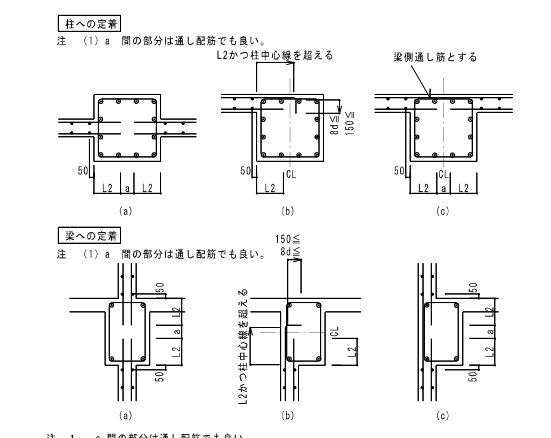
壁リスト

注) 縦筋の位置は柱リスト等参照の事。建物内においての(外)(内)は、下部土木構造物に対してとする。

符号	W15	W18	W20	W20A	EW20	EW20A
断面 (垂直断面)						
縦筋	D10@200 ダブル	D10@150 ダブル	D10@150 ダブル	D13@150 ダブル	D10@150 ダブル	D13@150 ダブル
横筋	D10@200 ダブル	D10@150 ダブル	D10@150 ダブル	D10@150 ダブル	D10@150 ダブル	D10@150 ダブル
開口 補強筋	縦	4-D13	6-D13	6-D16	6-D16	6-D16
	横	4-D13	6-D13	6-D16	6-D16	6-D16
巾止筋	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13
巾止筋		D10@900	D10@900	D10@900	D10@900	D10@900
備考						Y1連打 点検床受け部

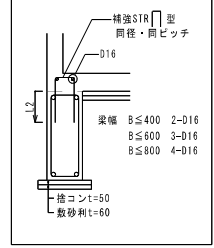


壁筋定着要領図



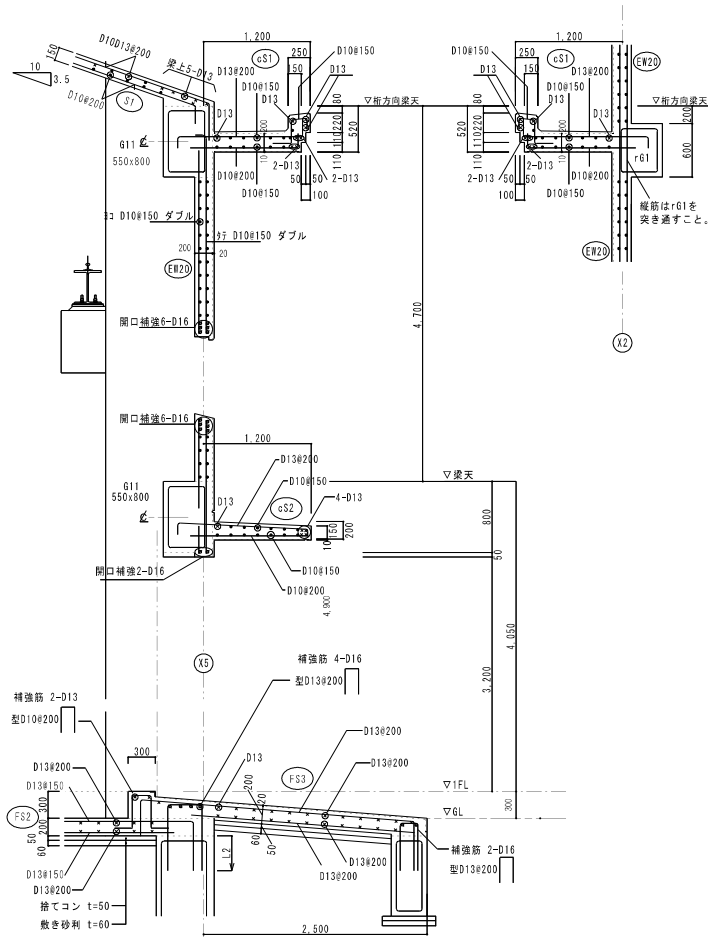
- a 間の部分は通し配筋でも良い。
- (b)で耐力壁の柱(梁)側の壁筋を定着する場合は、直筋部分は2h以上かつ柱(梁)の中心線を超えること。さらに帯筋(あばら筋)コア内定着は(8d、150)max以上とする。本建物では耐力壁以外も上記に準ずるものとする。
- 縦筋の配置は壁リスト、構造詳細図、その他実状に合わせて良い。

一般地中梁打増し補強要領

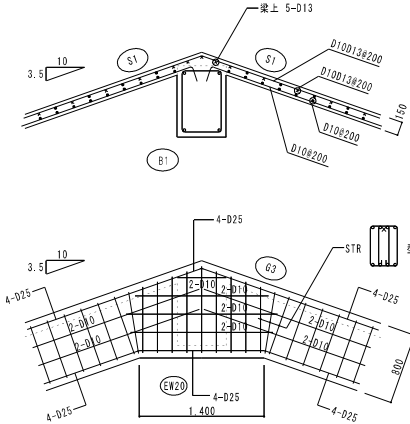


工事名	令和7年度国東海岸保全事業 2・3号排水機場上屋建築工事
図面名	壁リスト・スラブリスト・小梁リスト
作成年月日	—
縮尺	S=1:30 図面番号 61
会社名	—
事務所名	九州建設 西国東海岸保全事業所

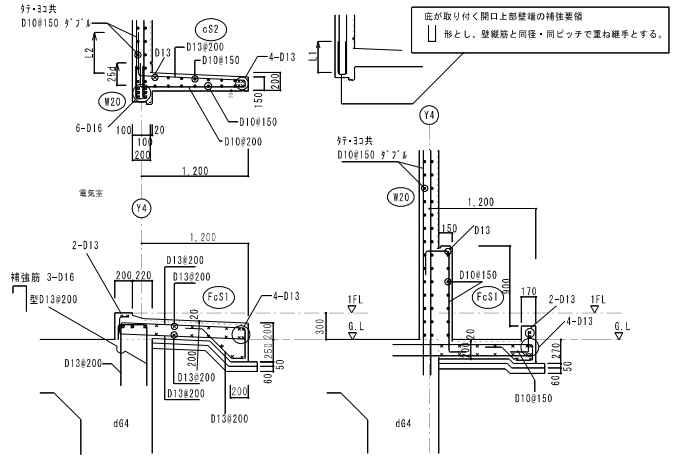
X5通り：搬入口付近配筋要領図



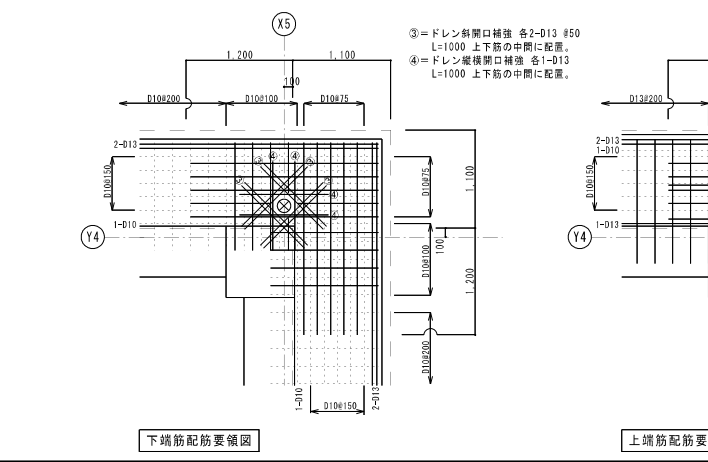
Y1, Y4通 R63梁、中央ハンチ部配筋要領図 及び 棟部スラブ配筋要領図



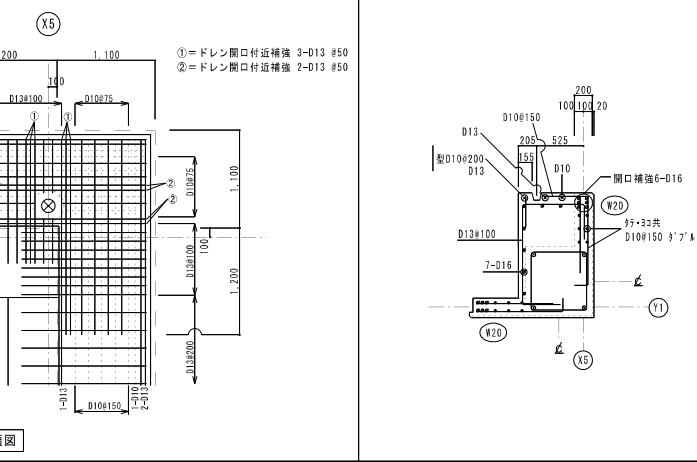
Y4通り：出入口及び足洗い場配筋要領図



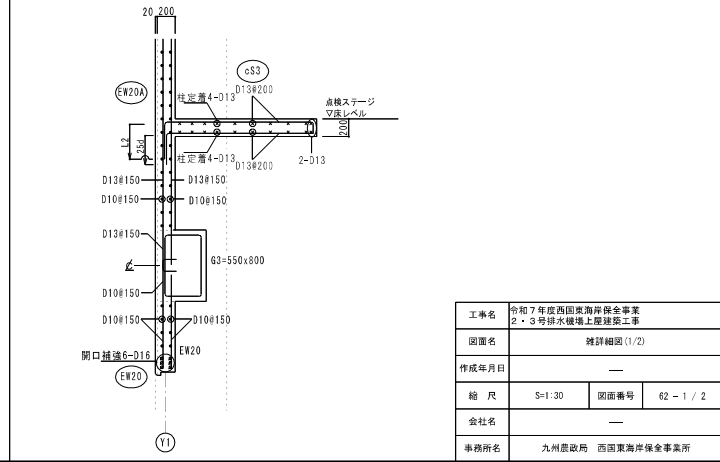
屋根成出隅部補強配筋要領図



Y1, X5一柱増し打ち 配筋要領図



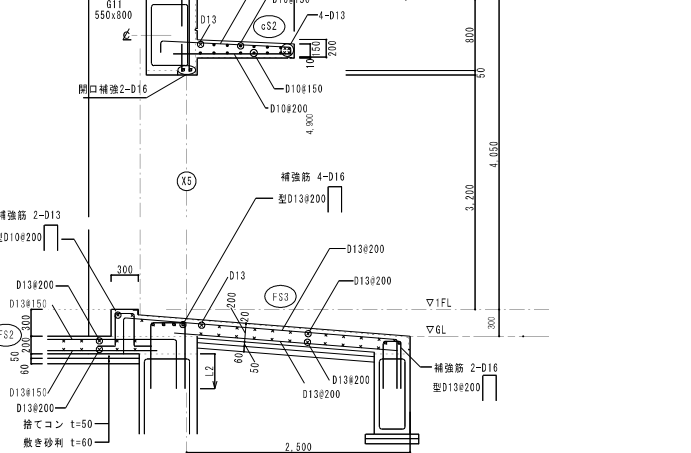
点検ステージ床配筋要領図



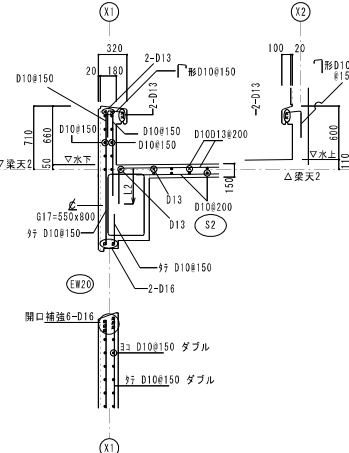
下端筋配筋要領図

上端筋配筋要領図

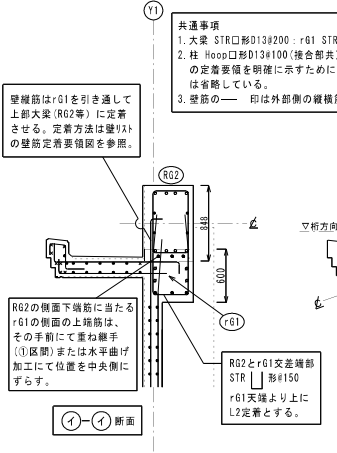
バラベットの配筋要領図



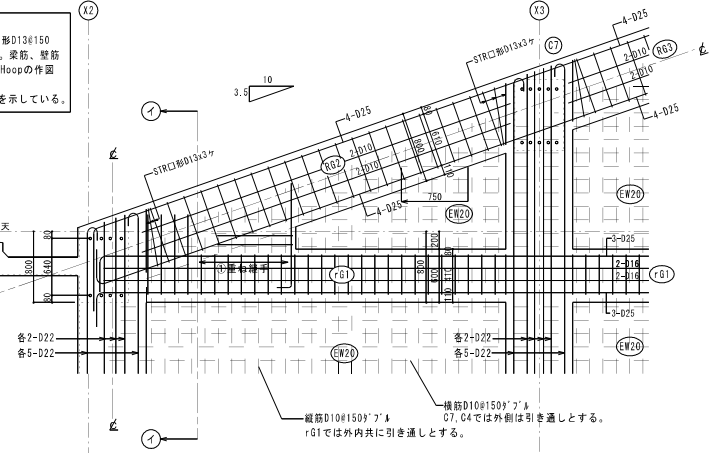
壁水切配筋要領図



Y1通 梁構配筋図



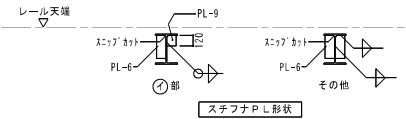
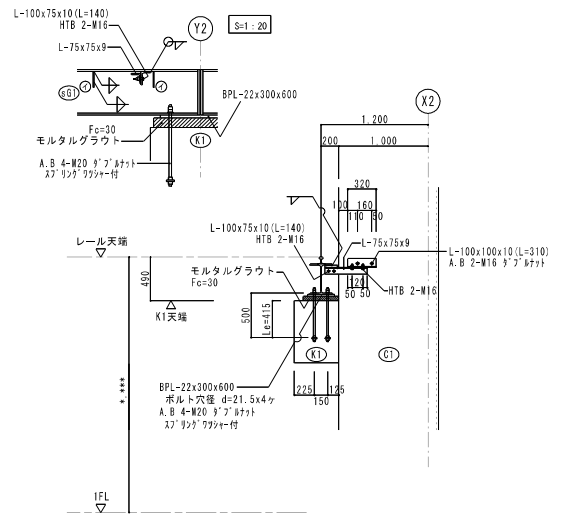
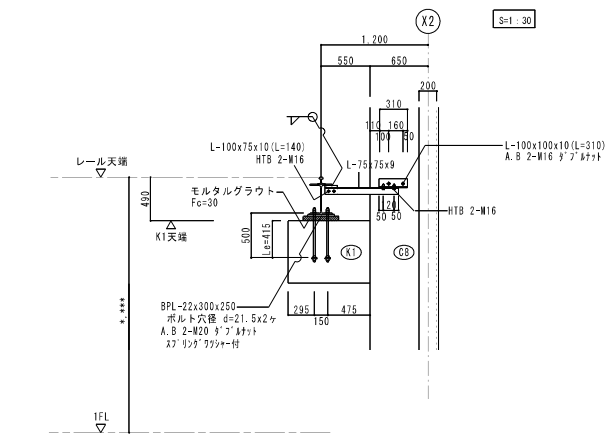
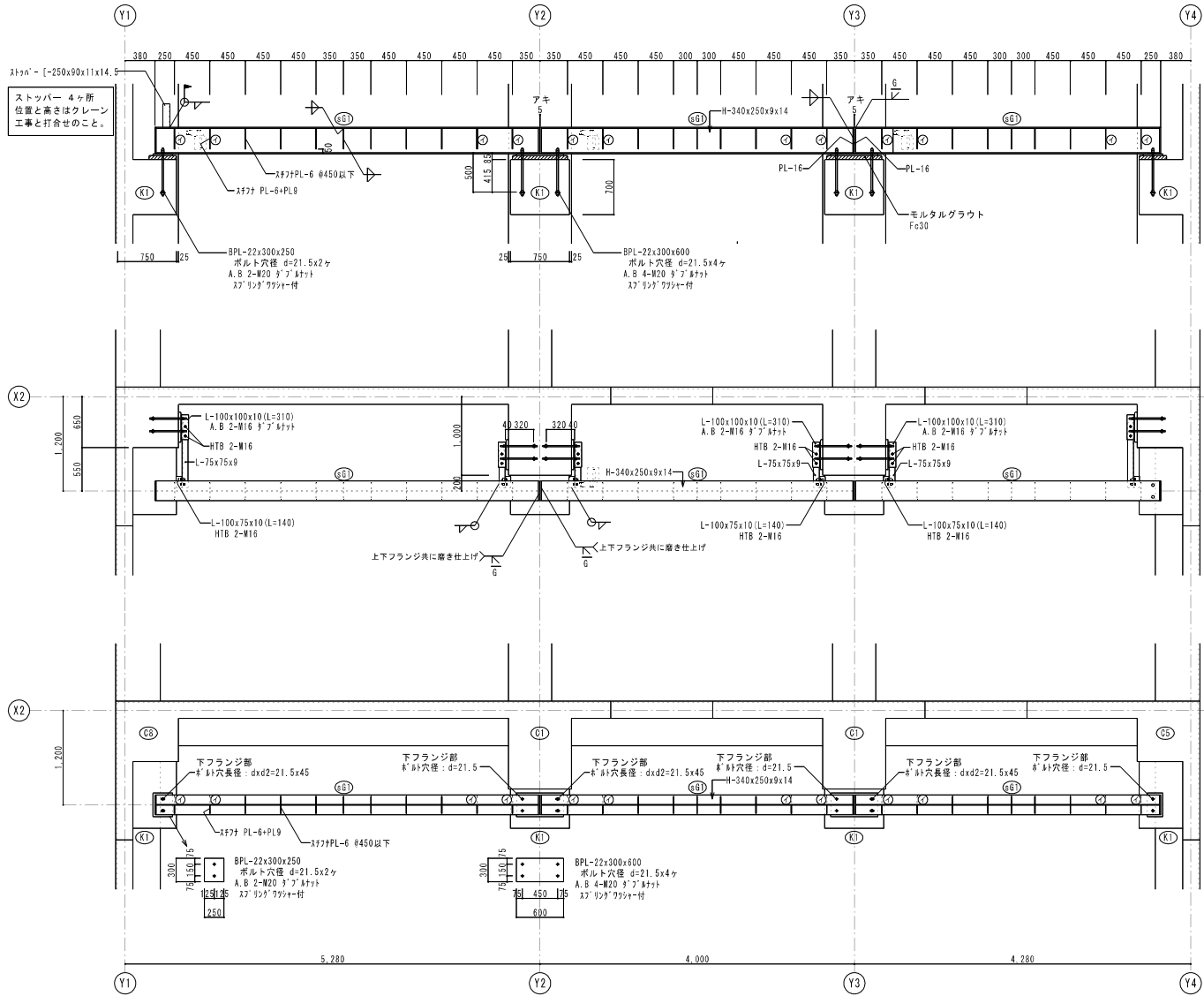
Y1, X5一柱増し打ち 配筋要領図



工事名	令和7年度西国東海岸防衛事業 2・3号排水機床上屋建築工事		
図面名	補強細図(1/2)		
作成年月日	—		
縮尺	S=1:30	図面番号	62-1/2
会社名	—		
事務所名	九州建設 西国東海岸防衛事業所		

S=1:30

S=1:30



※クレーンレール (15kg) の取り付けはクレーン工事とする。

鉄骨部材リスト		クレーン受け部材用	
符号	断面	材質	備考
K01	H-340x250x9x14	SN400B	プレート (PL) もSN400Bとする。
取付けアングル	L-75x75~L-100x100	SS400	
溝形鋼	[250x90x11x14.5	SS400	
HTB (高力ボルト)	HTB M16	S10T (F10T)	
A. B (7ヶボルト)	A. B M16	ABR400	5'7'ボルト、定着板付き。躯体へ20dの定着
A. B (4ヶボルト)	A. B W20	ABR400	5'7'ボルト+X7 リングワッシャー、定着板付き。躯体へ20dの定着

工事名	令和7年度西国東海岸保全事業 2・3号排水機場上屋建築工事		
図面名	補修細図(2/2)		
作成年月日	—		
縮尺	指示	図面番号	62-2/2
会社名	—		
事務所名	九州建設局 西国東海岸保全事業所		

衛生器具表

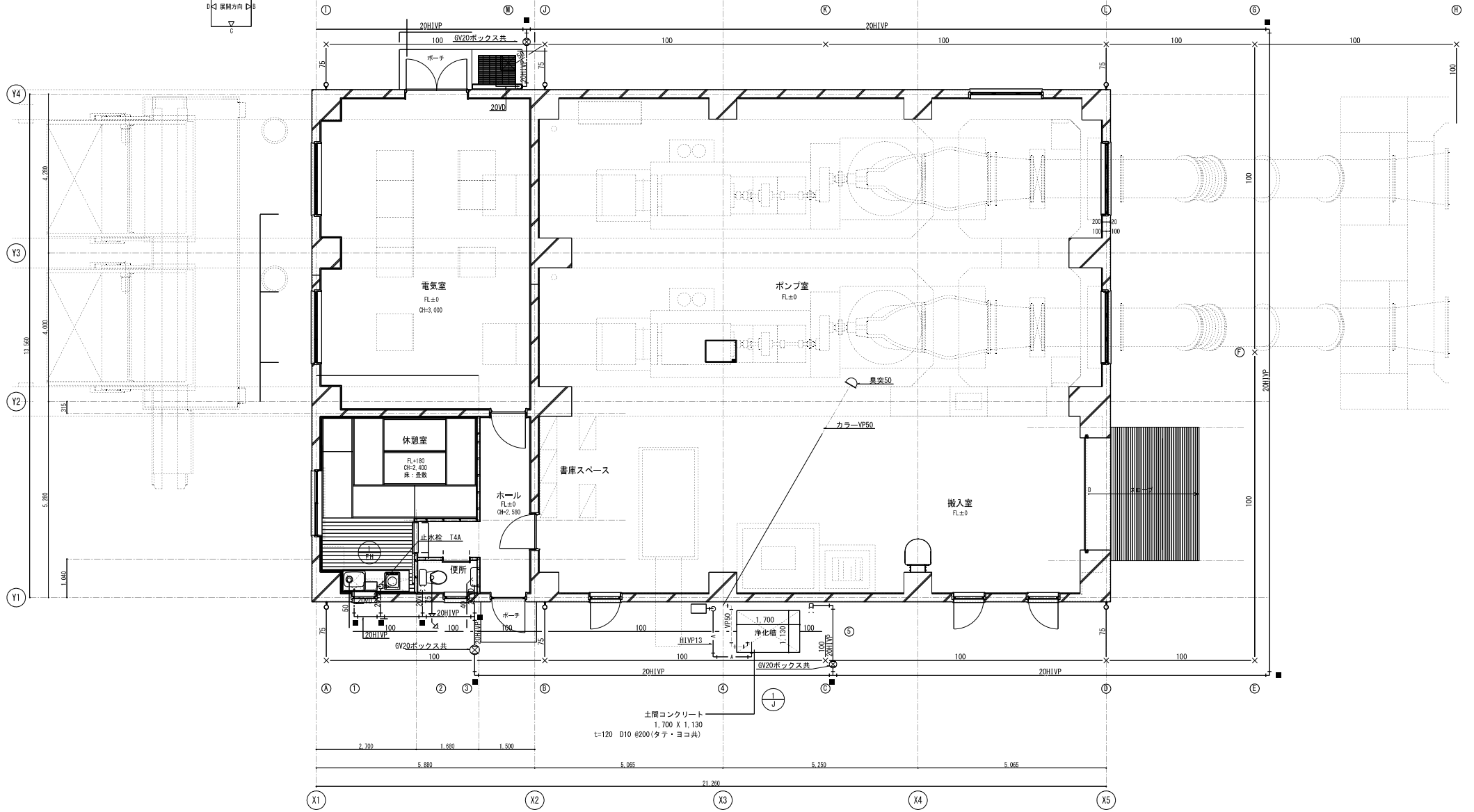
器具名	仕様	構成品					設置場所					数量	備考
							1階						
							足洗場	便所	洗面	休憩室	屋外		
洋風便器	密結ロータンク 根付二連紙巻器 YH60DFMR	CS232B	SH232BA	TC301	取付金具一式		1					1	
手洗器付キャビネット	オートストップ水栓タイプ	YSC46AX			取付金具一式		1					1	
自在水栓	台付	T136AUN13CR							1			1	
万能ホーム水栓		T200SNR13C				1					1	2	
水栓柱	樹脂製 65×65×900L										1	1	

機器表

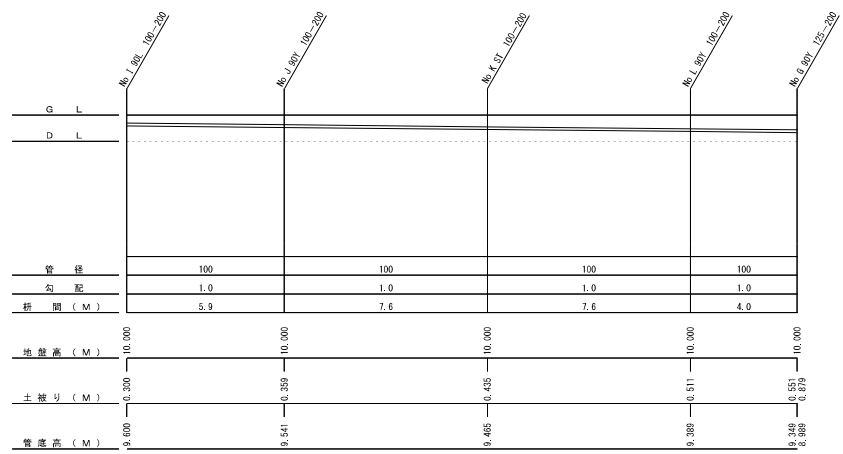
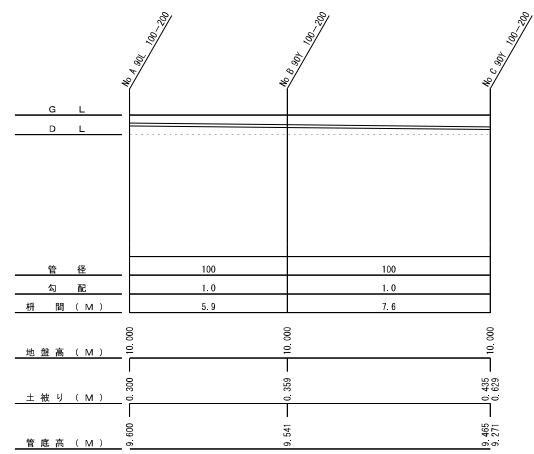
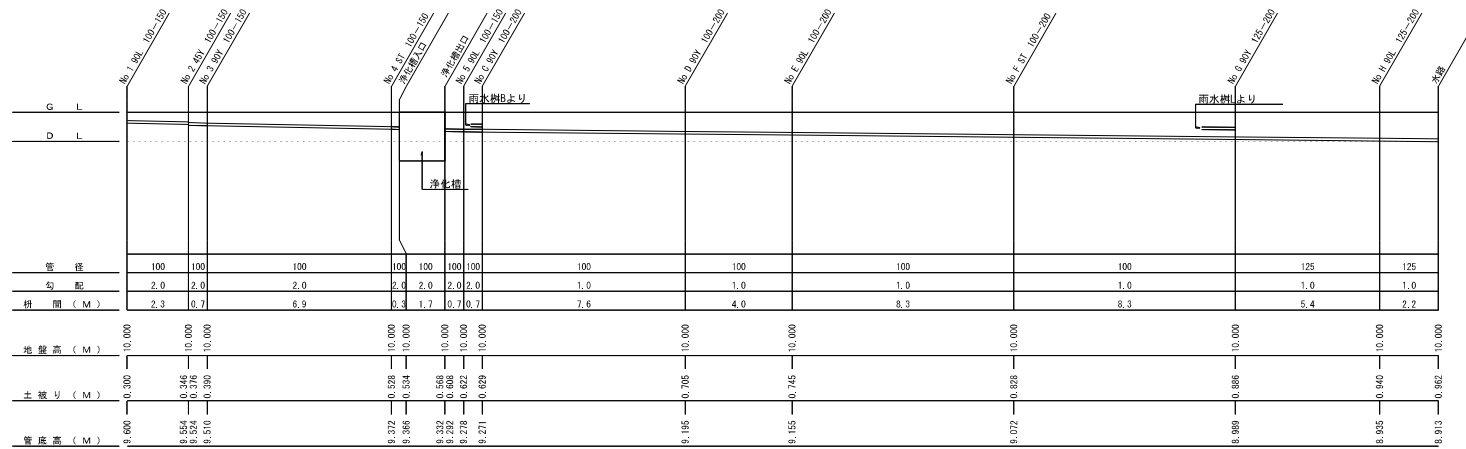
記号	名称	仕様		台数	設置場所	備考
		能力	電気容量(参考値)			
Ⓜ J	小型合併式浄化槽	処理対象人員 5人	フロアー 0.1KW	1	屋外	
Ⓜ P	自吸式ホームポンプ (施工対象外)	口径20×吐水量20L/min×19m	0.2KW	1	屋外	コンクリート基礎工事
Ⓜ EH	壁掛型電気湯沸器	容量 10L 下部カラン付	1.5KW	1	休憩室	参考品番HDCN-20K

凡例		
記号	名称	摘要
—————	給水管	屋内一般：水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB 土中埋設：耐衝撃性硬質塩化ビニール管 HIVP 屋内一般土中埋設：水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD
—————	給湯管	架橋ポリエチレン管 保温厚10mm
—————	雑排水管 汚水管	屋内一般：硬質塩化ビニ管 VP 露出部：カラーVP 区画貫通部：65φ以上硬質塩化ビニル管 VP 土中埋設125A以下：硬質塩化ビニル管 VP 土中埋設150A以上：硬質塩化ビニル管 VU
○—————	ゲートバルブ	型式は図示による
—————	給水栓	
×—————	小口径汚水樹	型式は図示による
×—————	小口径雨水樹	型式は図示による
■ ●	地中埋設表示	■：表示杭 ●：表示ピン
—————	浄化槽エア配管	屋外：耐衝撃性硬質塩化ビニ管 HIVP

工事名	令和7年度西国東海岸保全事業 2・3号排水機場上屋建築工事		
図面名	凡例・衛生器具表		
作成年月日	—		
縮尺	S=1:100N	図面番号	64
会社名	—		
事務所名	九州建設局 西国東海岸保全事業所		



工事名	令和7年度西国東海岸保全事業 2・3号排水機棟上屋建築工事		
図面名	衛生平面詳細図		
作成年月日	—		
縮尺	S=1:50	図面番号	65
会社名	—		
事務所名	九州農政局 西国東海岸保全事業所		

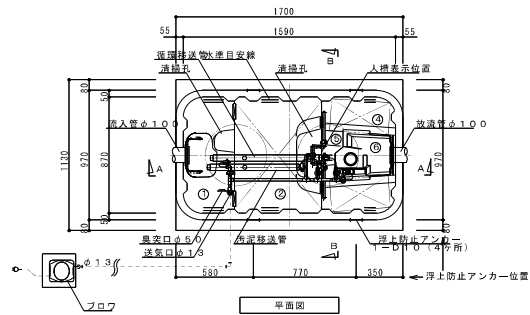


NO	名称	種別	樹形状	管底高			高さ		小口径鉄蓋 T=2 (防水) 200φ	小口径鉄蓋 T=8 (防水) 200φ	備考
				m	m	m	m	m			
A	小口径雨水樹	雨水	90L 100-200	10	9.6	0.4			1	泥溜バケツ共	
B	小口径雨水樹	雨水	90Y 100-200	10	9.541	0.459			1	泥溜バケツ共	
C	小口径雨水樹	雨水	90Y 100-200	10	9.465	0.535			1	泥溜バケツ共	
D	小口径雨水樹	雨水	90Y 100-200	10	9.271	0.729			1	泥溜バケツ共	
E	小口径雨水樹	雨水	90Y 100-200	10	9.195	0.805			1	泥溜バケツ共	
F	小口径雨水樹	雨水	90L 100-200	10	9.072	0.928			1	泥溜バケツ共	
G	小口径雨水樹	雨水	90Y 125-200	10	8.989	1.011			1	泥溜バケツ共	
H	小口径雨水樹	雨水	90L 125-200	10	8.935	1.065			1	泥溜バケツ共	
I	小口径雨水樹	雨水	90L 100-200	10	9.6	0.4			1	泥溜バケツ共	
J	小口径雨水樹	雨水	90Y 100-200	10	9.541	0.459			1	泥溜バケツ共	
K	小口径雨水樹	雨水	ST 100-200	10	9.465	0.535			1	泥溜バケツ共	
L	小口径雨水樹	雨水	90Y 100-200	10	9.349	0.651			1	泥溜バケツ共	
M	コンクリート角形	雨水	300×300	10	9.6	0.4				蓋無 泥溜150H以上	

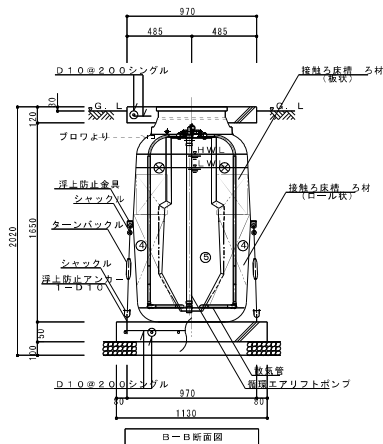
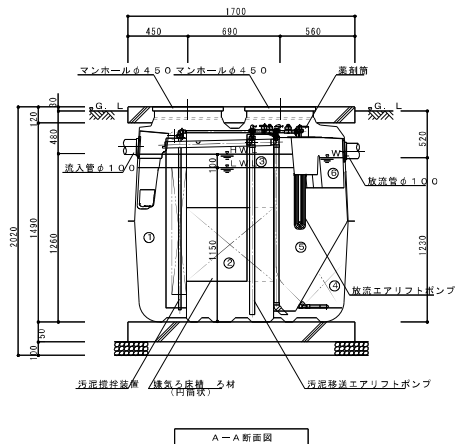
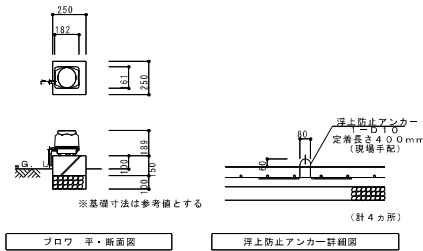
NO	名称	樹形状			地盤高	管底高	深さ	蓋		備考
		種別	口径	立上口径				150φ	200φ	
1	小口径樹	90L	100	150	10	9.6	0.4	1		
2	小口径樹	45YS	100	150	10	9.554	0.446	1		段差3cm
3	小口径樹	90Y	100	150	10	9.51	0.49	1		
4	小口径樹	ST	100	150	10	9.372	0.628	1		
5	小口径樹	90L	100	150	10	9.278	0.722	1		

※地盤高・管底等は参考とする。

工事名	令和7年度西国東海岸健全事業 2・3号排水機場上屋建築工事		
図面名	排水樹断面・樹表		
作成年月日	—		
縮尺	S=1:100	図面番号	66
会社名	—		
事務所名	九州農政局 西国東海岸健全事業所		



一般事項	
コンクリート	F _c =21N/mm ²
鉄筋	SD295A
定着及継手	40d
開口補強筋	D13シングル
地盤	砕石又はRC 40~0



仕様表			
設計番号	CA-5型		
型式名称	CA-5型		
処理対象人員	5人		
汚水量	1.00m ³ /d		
流入水質	BOD 200mg/L	COD 100mg/L	T-N 45mg/L
排水水質	BOD 20mg/L	COD 30mg/L	T-N 20mg/L
①	沈殿分離槽	有効容量	0.317 m ³
②	嫌気ろ床槽	有効容量	0.600 m ³
③	ピークカット部	有効容量	0.120 m ³
④	接触ろ床槽	有効容量	0.296 m ³
⑤	処理水槽	有効容量	0.165 m ³
⑥	消毒槽	有効容量	0.015 m ³
	総容量	有効容量	1.513 m ³
機器装置仕様			
嫌気ろ床積み材 (円筒状)	PPまたはPE	充填率	4.3%
接触ろ床積み材 (ロール状)	PPまたはPE	充填率	6.1%
接触ろ床積み材 (板状)	PPまたはPE	充填率	2.1%
ブロウ	60L/min	φ13	連続運転 1台
槽本体	FRP		
パイプ類	PVC、PPまたはPE		
マンホール	プラスチック又は鉄鉄		
消毒剤	固形塩素剤		

配管仕様	
露出配管 (ブロウ類)	VP
土中配管	φ40以下~VP・φ50以上~VU
槽内配管	メーカー仕様

- 注1) 上部は歩行者荷重とする。
- 注2) 機器電源は単相100Vとする。
- 注3) 図中の“G、L”は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
- 注4) 浄化槽からブロウまでの距離は5m以内とする。
- 注5) 流入管・放流管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注6) 臭突管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注7) ブロウ付込にコンセント×1を設置のこと。設置は浄化槽工事範囲外とする。
- 注8) 岩掘削工事、杭工事、地盤改良工事、ウエルポイント工事は別途とする。

施工高さ範囲			
項目	管上げ高さ	流入管底	放流管底
最小寸法 (この図面)	50H	G、L-320	G、L-350
最大寸法	300H	G、L-570	G、L-600

注) 製品公差は、製品規格で+10、-20mmの公差があります。
 流入・放流管底は、製品規格で製品公差に対し±10mmの公差があります。

工事名	令和7年度西国東海岸保全事業 2・3号排水機場上屋建築工事		
図面名	浄化槽詳細図		
作成年月日	—		
縮尺	S=1:20	図面番号	67
会社名	—		
事務所名	九州農政局 西国東海岸保全事業所		

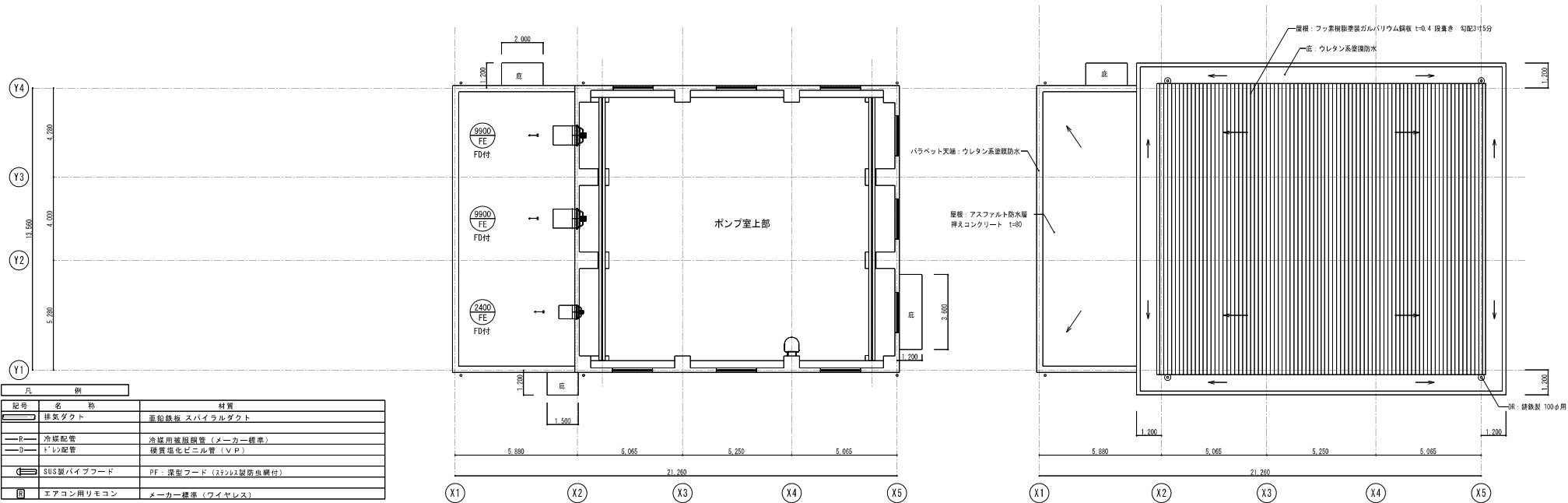
換気機器表

記号	名称	機器形式	仕 様				電気容量 (w)	電 源	台 数	設置場所	備 考
			能 力		付 属 品 其 他						
50 FE	換気扇	天井埋込みダクト型	風量 50 m ³ /h 静圧 90 Pa	SUS製深型 フード 100φ	静圧損失 5 Pa以下	消費電力 = 9.3W	1φ100V	1	便所		
60 FE	換気扇	天井埋込みダクト型 24時間換気	風量 60 m ³ /h 静圧 80 Pa	SUS製深型 フード 100φ	静圧損失 12 Pa以下	消費電力 = 9.3W	1φ100V	1	休憩室		
100 FE	換気扇	天井埋込みダクト型 (台所用)	風量 120 m ³ /h 静圧 85 Pa	SUS製深型 フード 100φ	静圧損失 15 Pa以下	消費電力 = 27W	1φ100V	1	休憩室		
1200 FE	換気扇	圧力扇 (羽根口径300φ)	風量 1200 m ³ /h 静圧 50 Pa	SUS製ウエザークーパー 電動シャッター-300φ用	300φ用 静圧損失 10 Pa以下	消費電力 = 69W 公称出力 = 50W 起動電流 = 1.29A	3φ200V	1	電気室	FS-1200と連動	
2400 FE	換気扇	圧力扇 (羽根口径350φ)	風量 2400 m ³ /h 静圧 80 Pa	SUS製ウエザークーパー 電動シャッター-350φ用 FD付	350φ用 静圧損失 30 Pa以下 30 Pa以下	消費電力 = 112W 公称出力 = 100W 起動電流 = 1.94A	3φ200V	1	ポンプ室上部	FS-11610と連動	
4900 FE	換気扇	圧力扇 (羽根口径600φ)	風量 9900 m ³ /h 静圧 150 Pa	SUS製ウエザークーパー 電動シャッター-600φ用 FD付	600φ用 静圧損失 20 Pa以下	消費電力 = 1100W 公称出力 = 2200W 起動電流 = 33.6A	3φ200V	2	ポンプ室上部	FS-14240と連動	
1200 FS	換気扇	圧力扇 (羽根口径300φ)	風量 1200 m ³ /h 静圧 90 Pa	SUS製ウエザークーパー 電動シャッター-300φ用	300φ用 静圧損失 20 Pa以下 20 Pa以下	消費電力 = 75W 公称出力 = 50W 起動電流 = 1.48A	3φ200V	1	電気室		
11610 FS	換気扇	圧力扇 (羽根口径600φ)	風量 11610 m ³ /h 静圧 160 Pa	SUS製ウエザークーパー 電動シャッター-600φ用 FD付	600φ用 静圧損失 110 Pa以下 34 Pa以下	消費電力 = 1070W 公称出力 = 2200W 起動電流 = 33.6A	3φ200V	2	搬入室		
14240 FS	換気扇	圧力扇 (羽根口径700φ)	風量 14240 m ³ /h 静圧 190 Pa	SUS製ウエザークーパー 電動シャッター-700φ用 FD付	700φ用 静圧損失 140 Pa以下 30 Pa以下	消費電力 = 1980W 公称出力 = 3700W 起動電流 = 56.9A	3φ200V	6	ポンプ室		
210 DA	給排気グリル	薄型格子デザイングリル	風量 210 m ³ /h	SUS製深型 フード 薄型格子デザイングリル	150φ 150φ 静圧損失 18 Pa以下	30 Pa以下		1	前室		

新設機器表

記号	名称	機器形式	仕 様				台 数	設置場所	備 考
			定 格 能 力		参 考 電 気 容 量 (W)				
1 ADR	空冷ヒートポンプエアコン	壁掛型	冷房能力 3.6KW 暖房能力 4.2KW	冷房 消費電力 = 825W 運転電流 = 6.5A 暖房 消費電力 = 825W 運転電流 = 8.3A	1φ100V	1	休憩室		

工事名	令和7年度西国東海岸保全事業 2・3号排水機場上屋建築工事		
図面名	空調換気機器表		
作成年月日	—		
縮 尺	S=1:100N	図面番号	68
会社名	—		
事務所名	九州建設 西国東海岸保全事業所		

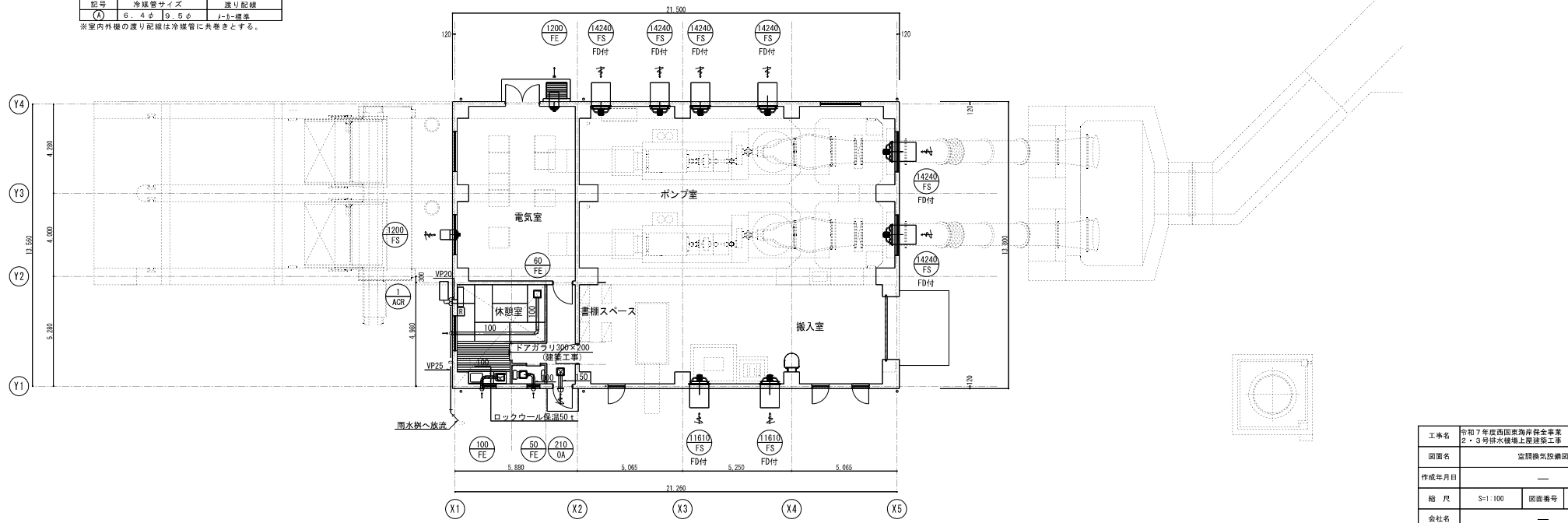


記号	名称	材質
—	排気ダクト	亜鉛鉄板 スパイラルダクト
—R	冷媒配管	冷媒用被服組管 (メーカー標準)
—D	ドレン配管	硬質塩化ビニル管 (V.P.)
—	SUS製パイプフード	PF: 透型フード (ステンレス製防虫網付)
—	エアコン用リモコン	メーカー標準 (ワイヤレス)

冷媒配管サイズ表 (参考)

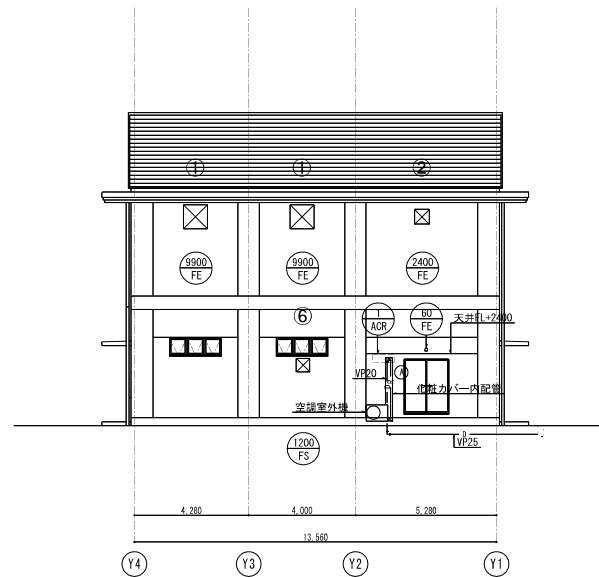
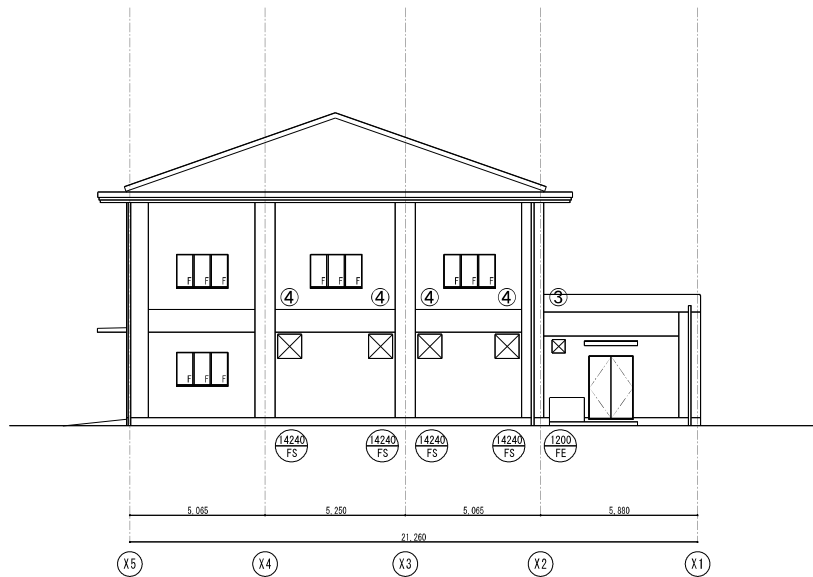
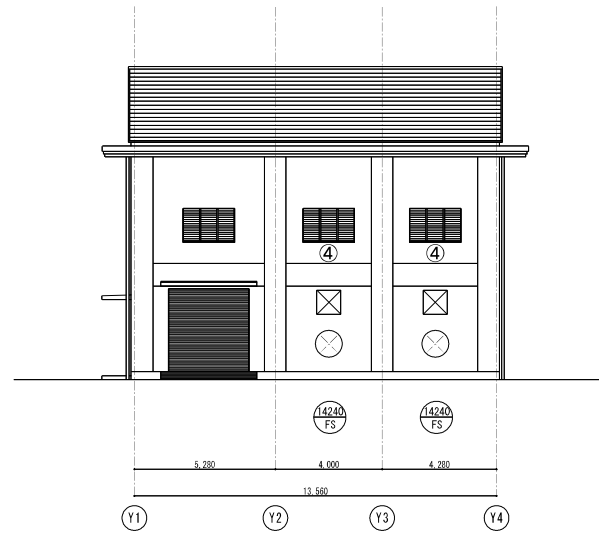
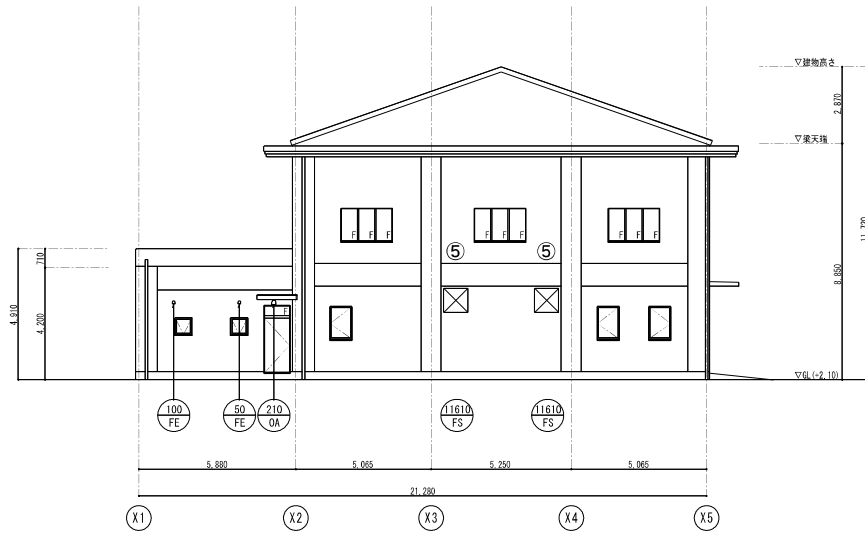
記号	冷媒管サイズ	通り配線
(A)	6.4φ 9.5φ	J-5-標準

※室内外線の通り配線は冷媒管に共通とする。



工事名	令和7年度西国東海岸保全事業 2・3号排水機場上屋建築工事		
図面名	空調換気設備図		
作成年月日	—		
縮尺	S=1:100	図面番号	69
会社名	—		
事務所名	九州建設 西国東海岸保全事業所		

室名	排気側						給気側							
	記号	羽径 mm	風量 m ³ /min	風量 m ³ /h	ヶ所	1台当たり 風量m ³ /h	開口 (開口建築工事)	記号	羽径 mm	風量 m ³ /min	風量 m ³ /h	ヶ所	1台当たり 風量m ³ /h	開口 (開口建築工事)
No1, No2主ポンプ室	(1)	600	330	19,800	2	9,900	800×800	(4)	700	1424	85,440	6	14,240	900×900
75KVA自家発電機室	(2)	350	40	2,400	1	2,400	550×550	(5)	600	387	23,220	2	11,610	800×800
配電設備室	(3)	300	20	1,200	1	1,200	450×450	(6)	300	20	1,200	1	1,200	450×450

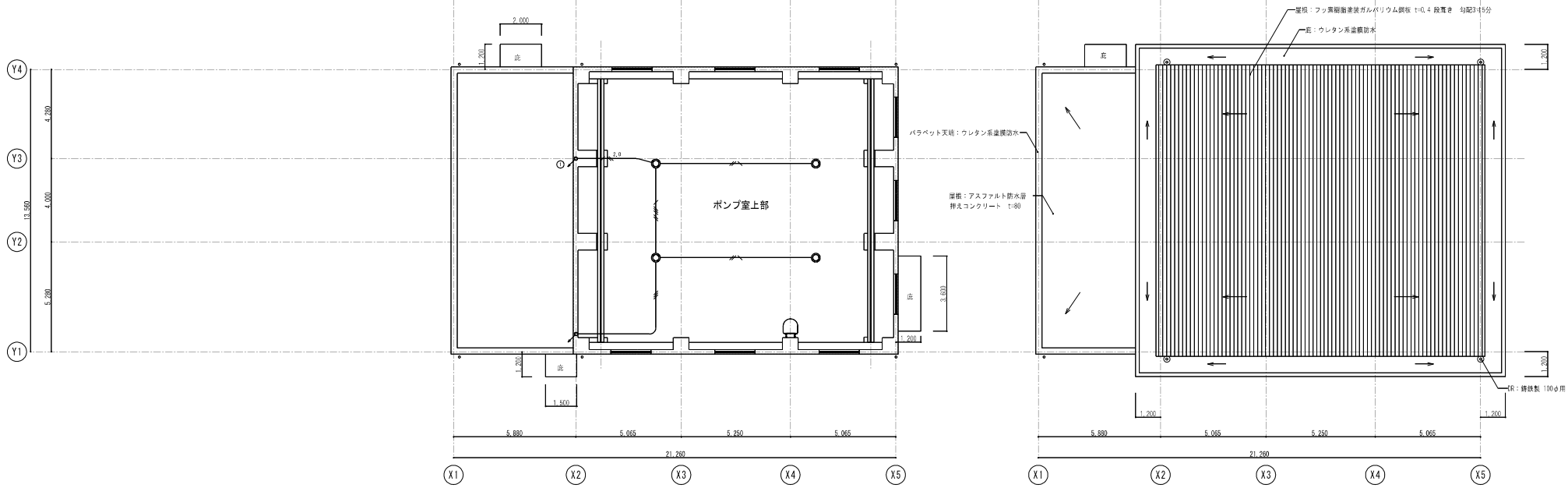


記号	名称	材質
①	排気ダクト	亜鉛鉄板 スパイラルダクト
—R—	冷媒配管	冷媒用純銅管 (メーカー標準)
—D—	ドレン配管	硬質塩化ビニル管 (V.P)
②	SUS製パイプフード	PF: 塗装フード (ステンレス製虫網付)
③	エアコン用リモコン	メーカー標準 (ワイヤレス)

冷媒配管サイズ表 (参考)		
記号	冷媒管サイズ	通り配線
(A)	6.4φ 9.5φ	1φ12標準

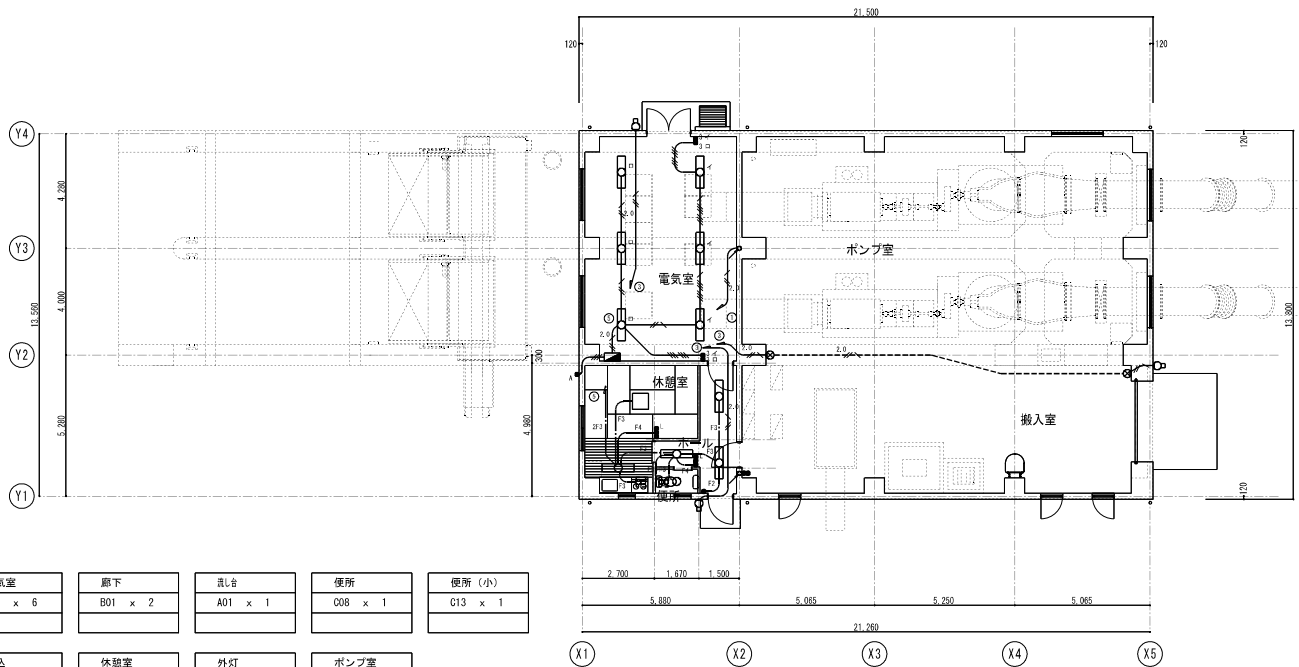
※室内外機の張り配線は冷媒管に共着きとする。

工事名	令和7年度西国東海岸防衛事業 2・3号排水機棟上屋建築工事		
図面名	立面図		
作成年月日	—		
縮尺	S=1:100	図面番号	70
会社名	—		
事務所名	九州農政局 西国東海岸防衛事業所		



1階上部平面図

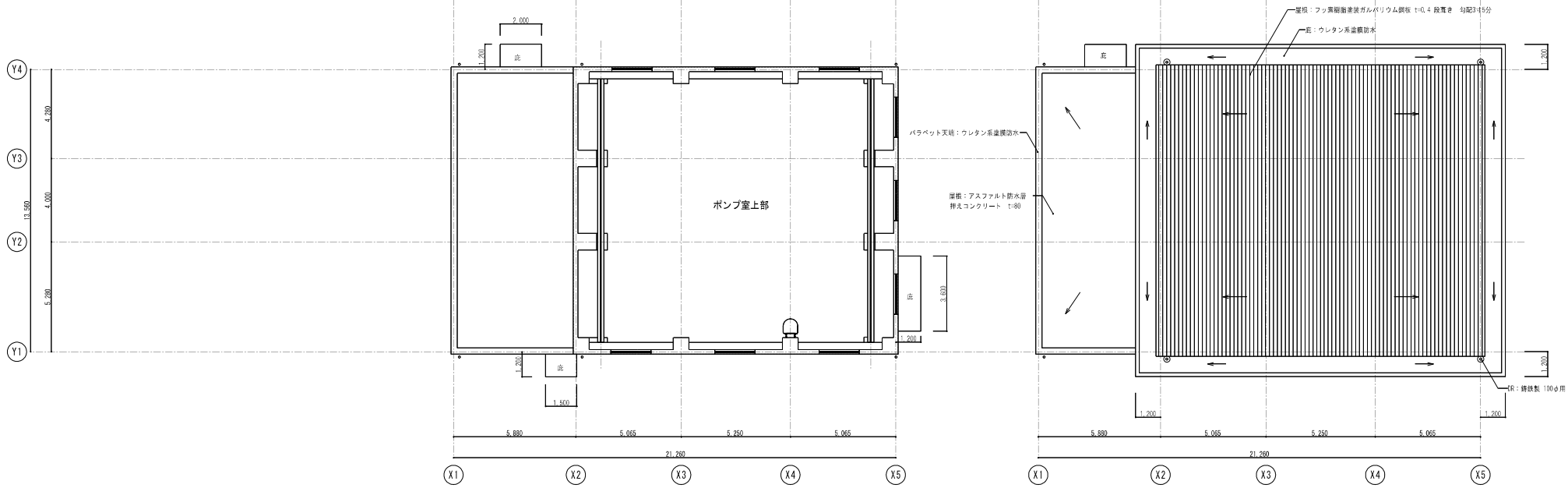
屋根伏図



1階平面図

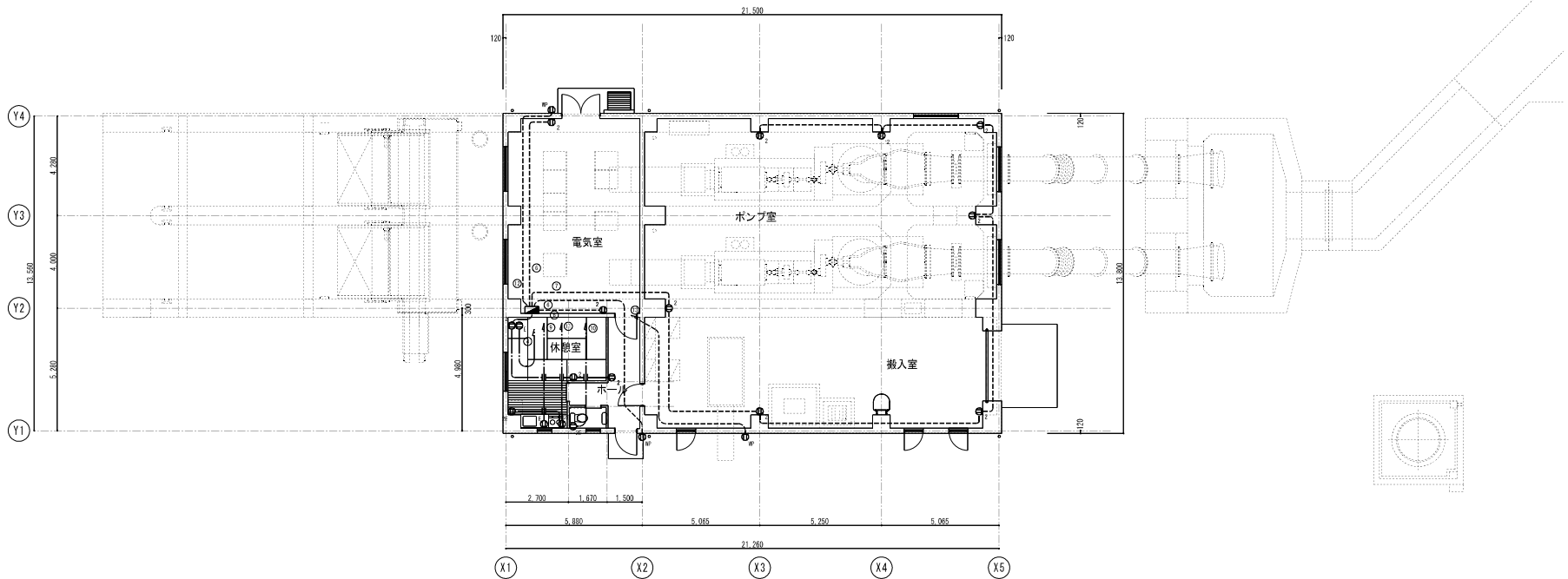
電気室 A02 x 6	廊下 B01 x 2	洗面 A01 x 1	便所 C08 x 1	便所 (小) C13 x 1
路込 B01 x 1	休憩室 D01 x 1	外灯 E01 x 3	ポンプ室 F01 x 4	

工事名	令和7年度西国東海岸保全事業 2・3号排水機場上屋建築工事		
図面名	電灯設備平面図		
作成年月日	—		
縮尺	S=1:100	図面番号	73
会社名	—		
事務所名	九州農政局 西国東海岸保全事業所		



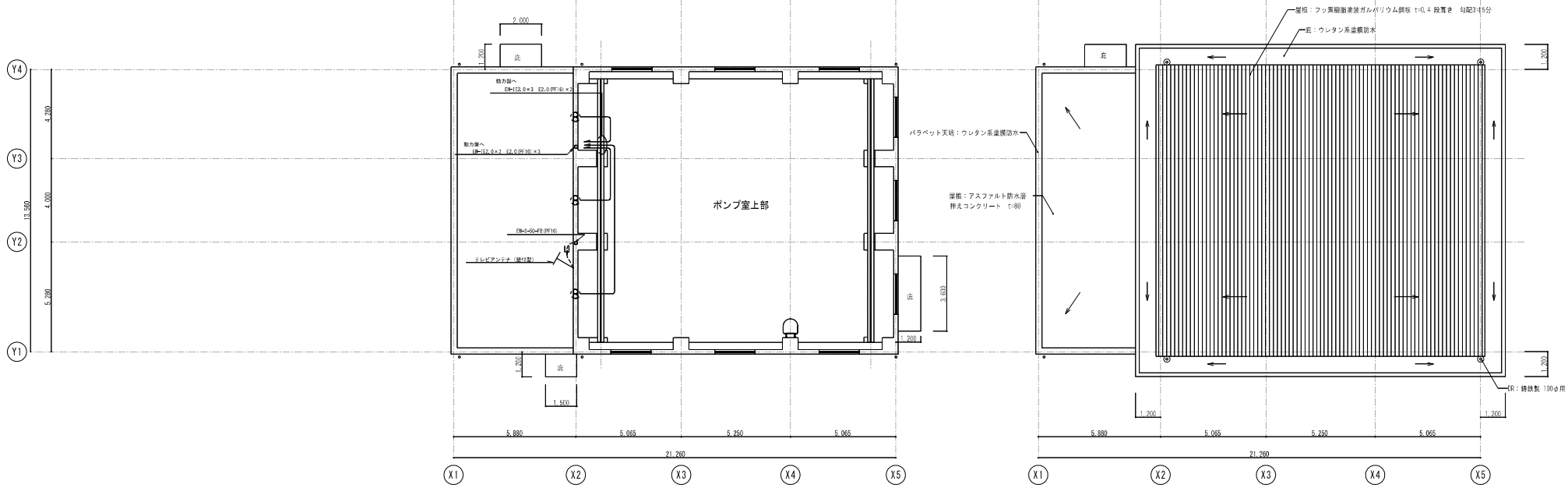
1階上部平面図

屋根伏図



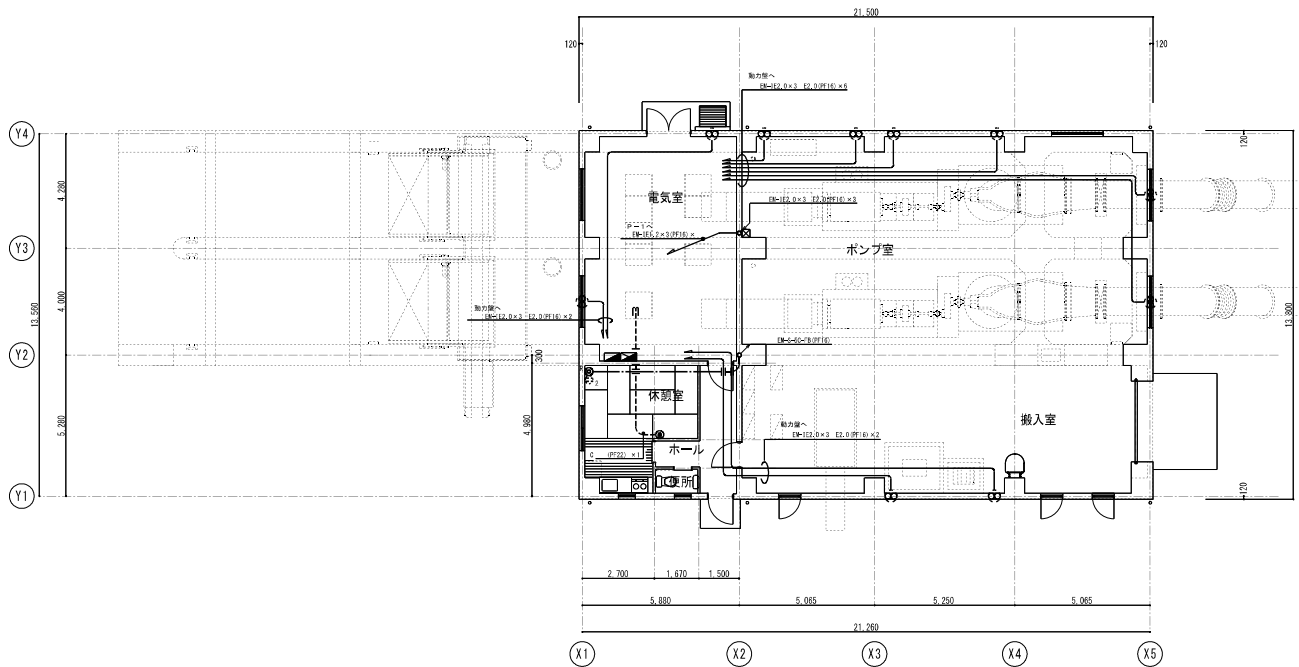
1階平面図

工事名	令和7年度西国東海岸保全事業 2・3号排水機場上屋建築工事		
図面名	コンセント設備平面図		
作成年月日	—		
縮尺	S=1:100	図面番号	74
会社名	—		
事務所名	九州農政局 西国東海岸保全事業所		



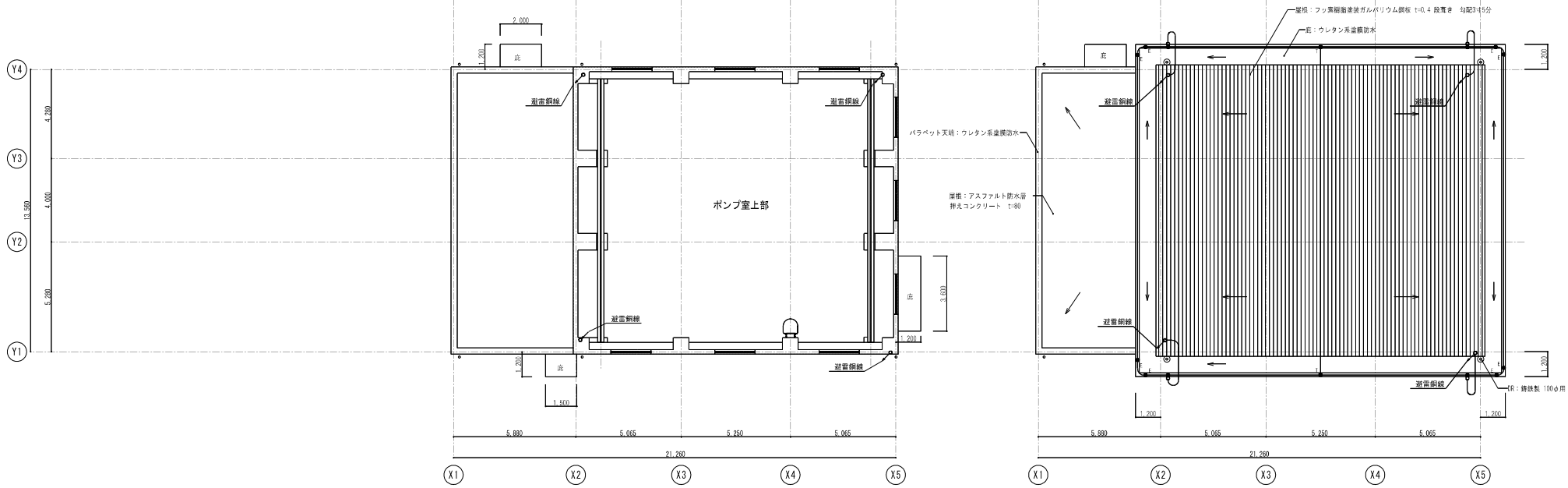
1階上部平面図

屋根伏図



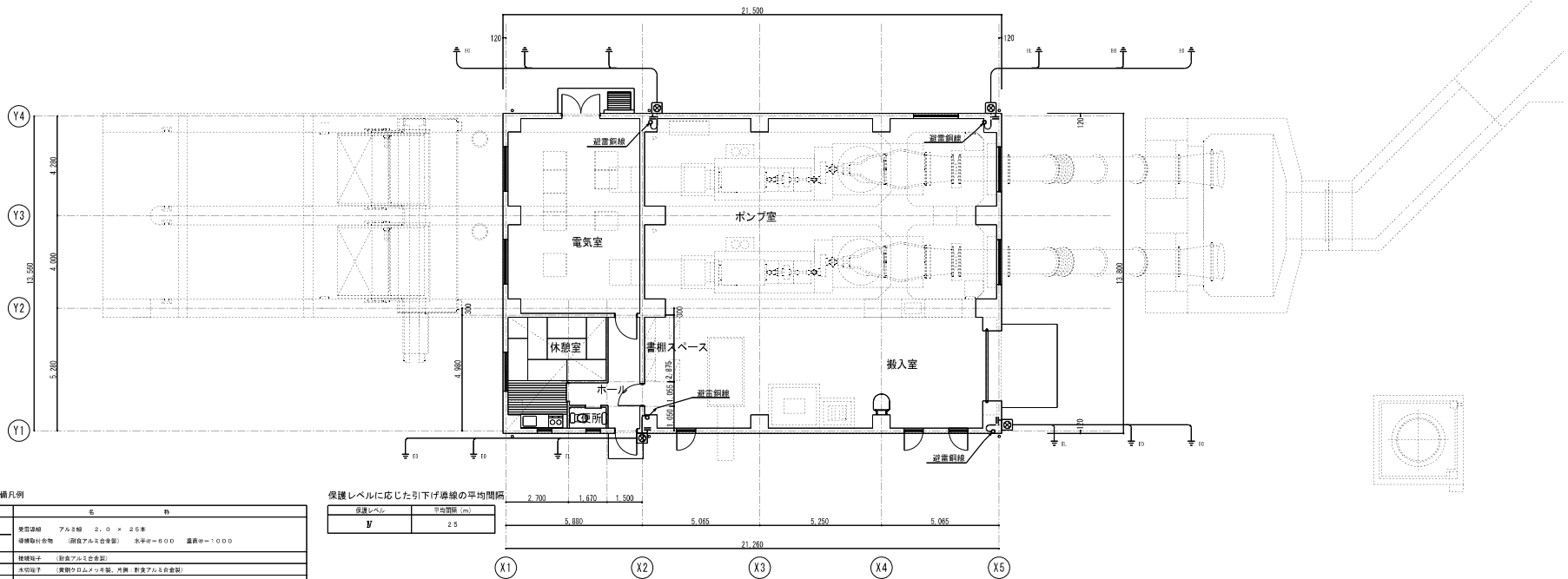
1階平面図

工事名	令和7年度西国東海岸保全事業 2・3号排水機場上屋建築工事		
図面名	動力・テレビ共同受信設備平面図		
作成年月日	—		
縮尺	S=1:100	図面番号	75
会社名	—		
事務所名	九州農政局 西国東海岸保全事業所		



1階上部平面図

屋根伏図



1階平面図

記号	名称
●	接続端子 (T型)
○	接続端子 (円筒型)

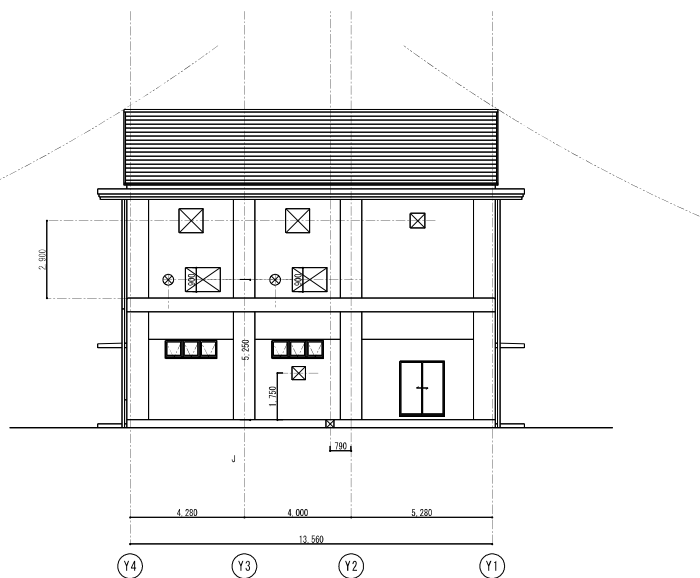
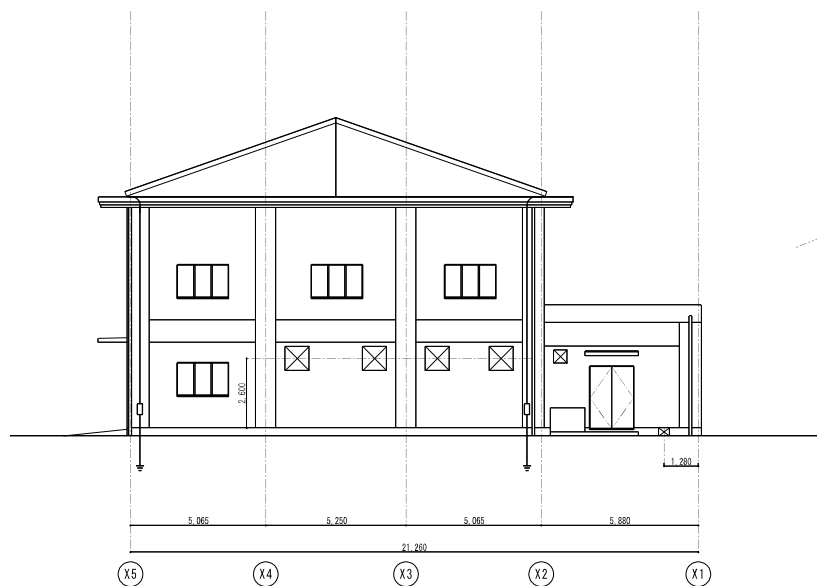
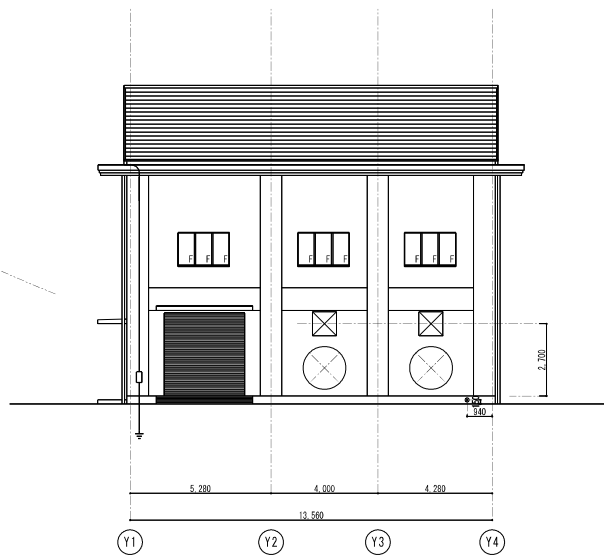
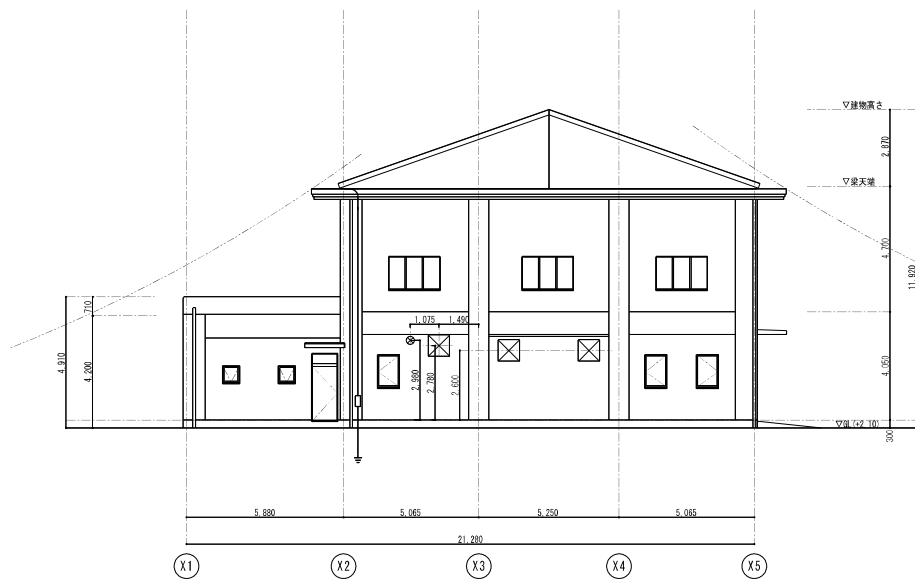
管保護設備凡例

記号	名称
●	電気設備 (アルミ製 2.0 x 2.5寸)
○	保護管(金物) (鋼製アルミ合金製) 水平径=500 重量=1000
●	接続端子 (円筒型アルミ合金製)
○	接続端子 (円筒型アルミ合金製) 円筒型アルミ合金製
---	鋼管 2.0 x 1.3寸 (PP22) 電送鋼管
	避雷鋼線
⊗	接続端子
⊙	接続端子
⊕	接地

保護レベルに応じた引下げ導線の平均間隔

保護レベル	平均間隔 (m)
Ⅱ	2.5

工事名	令和7年度西国東海岸保全事業
図面名	2・3号排水機場上屋建機工事
作成年月日	—
縮尺	S=1:100
図面番号	76
会社名	—
事務所名	九州建設局 西国東海岸保全事業所



工事名	令和7年度西国東海岸健全事業 2・3号排水機場上屋建築工事		
図面名	耐震計投機立面図		
作成年月日	—		
縮尺	S=1:100	図面番号	77
会社名	—		
事務所名	九州農政局 西国東海岸健全事業所		